

武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査 武蔵野市介護施設等における入退所調査

(武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画、
武蔵野市障害者計画・第6期障害福祉計画策定に係る調査)

報告書

令和2年3月
武蔵野市

目次

第1章 調査実施概要	1
第2章 調査結果の概要.....	3
第3章 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査結果	11
1. 事業所の属性.....	11
2. 介護職員の確保に向けて実施している取組み.....	15
3. 回答者の属性.....	20
4. ケアリンピック武蔵野への参加・来場経験	37
5. 地域包括ケア人材育成センターについて	41
6. 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向	45
7. 外国人労働者の受け入れに対する考え.....	51
8. 武蔵野市で働き続けるために市に求めること.....	52
9. 1週間の訪問サービスにおける提供時間.....	55
第4章 武蔵野市介護施設等における入退所調査結果.....	59
1. 施設等の概要.....	59
2. 医療処置を受けている人数.....	62
3. 過去2年間の入所・入居者数	63
4. 過去2年間の退所・退居者数	64
5. 過去2年間の入所・入居及び退所・退居の流れ.....	67
6. 入居・入所者の退去理由	69
資料 使用した調査票	71

第1章 調査実施概要

1. 調査の目的

武蔵野市（以下「市」という。）では、令和2年度に高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画、障害者計画・第6期障害福祉計画の策定を予定している。計画策定に備え、今後の武蔵野市における人材の確保・育成や、高齢者が暮らし慣れた住まいで最後まで生活を継続する上で必要な機能に係る具体的な方策等を、各計画に盛り込むための基礎データを得るために調査を実施した。

2. 調査対象

○武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査

事業所票

武蔵野市内で介護サービス・障害福祉サービスを提供している施設・事業所の施設長・管理者を対象とした。

職員票

武蔵野市内で介護サービス・障害福祉サービスを提供している施設・事業所に所属する全ての介護職員、看護職員、リハビリテーション職員（以下、介護職員・看護職員等）を対象とした。

○武蔵野市介護施設等における入退所調査

武蔵野市内で介護サービスを提供している施設・事業所、武蔵野市内の利用者を受け入れている市外の特別養護老人ホームの施設長・管理者を対象とした。

3. 調査方法

郵送配付・郵送回収とした。

介護サービス及び障害福祉サービスの施設、事業所に事業所票、職員票を送付し、各事業所にて、事業所票は施設長・管理者に、職員票は介護職員・看護職員等に配付。事業所票、各職員が記入した職員票は施設・事業所単位で取りまとめ、武蔵野市に返送。

4. 調査期間

令和元年11月19日（火）～令和2年1月6日（月）

5. 回収状況

調査名	事業所票		職員票
	対象業所数※	回収件数（回収率）	回収件数
武蔵野市介護職員・ 看護職員等実態調査	185	155（83.8%）	1,693
武蔵野市介護施設等 における入退所調査	37	29（78.4%）	—

※同一住所に所在する施設・事業所は1事業所としてカウントしている。

6. 報告書の記載に関する注意点

- 1 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- 2 調査結果の比率は、その設問の回答者数を奇数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100.0%にならない場合がある。
- 3 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- 4 図表中「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または判別が困難なものである。
- 5 語句が長い選択肢については、本文及びグラフ中では省略した表現を用いている場合がある。
- 6 クロス集計において、軸になる設問の「無回答」の数値は掲載していない。

第2章 調査結果の概要

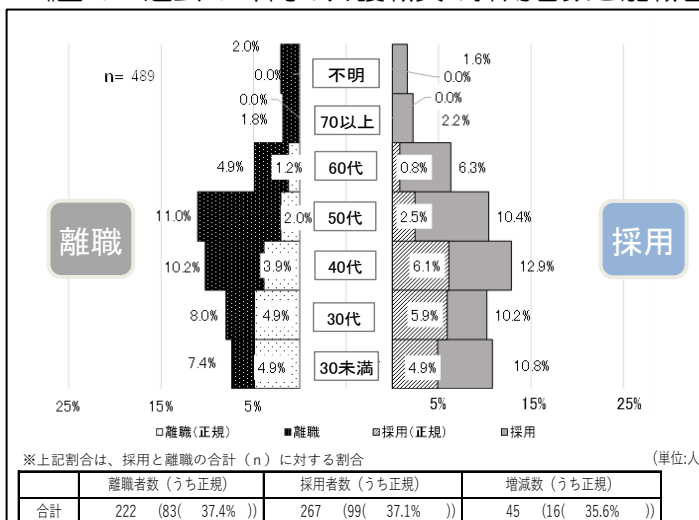
1 調査の実施概要

- ◇ 調査目的： 武蔵野市（以下「市」という。）では、令和2年度に高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画、障害者計画・第6期障害福祉計画の策定を予定している。計画策定に備え、今後の武蔵野市における人材の確保・育成や、高齢者が暮らし慣れた住まいで最後まで生活を継続する上で必要な機能に係る具体的な方策等を、各計画に盛り込むための基礎データを得るために調査を実施。
- ◇ 調査対象者： **【武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査】**
 - 事業所票：武蔵野市内で介護サービス・障害福祉サービスを提供している施設・事業所の施設長・管理者。
 - 職員票：武蔵野市内で介護サービス・障害福祉サービスを提供している施設・事業所に所属する全ての介護職員、看護職員、リハビリテーション職員（以下、介護職員・看護職員等）
- 【武蔵野市介護施設等における入退所調査】**
 - 武蔵野市内で介護サービスを提供している施設・事業所、武蔵野市内の利用者を受け入れている市外の特別養護老人ホームの施設長・管理者
- ◇ 調査期間： 令和元年11月19日（火）～令和2年1月6日（月）
- ◇ 調査方法： 郵送配付・郵送回収。介護サービス及び障害福祉サービスの施設、事業所に事業票、職員票を送付し、各事業所にて、事業所票は施設長・管理者に、職員票は介護職員・看護職員等に配付。事業所票、各職員が記入した職員票は施設・事業所単位で取りまとめ、武蔵野市に返送。
- ◇ 回収状況： **【武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査】**
 - 事業所票：155件 ○職員票：1,693件
- 【武蔵野市介護施設等における入退所調査】**
 - 29件

2 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査（事業所票）調査結果の概要

（1）回答事業所の属性

《図1 過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数》（数値回答）

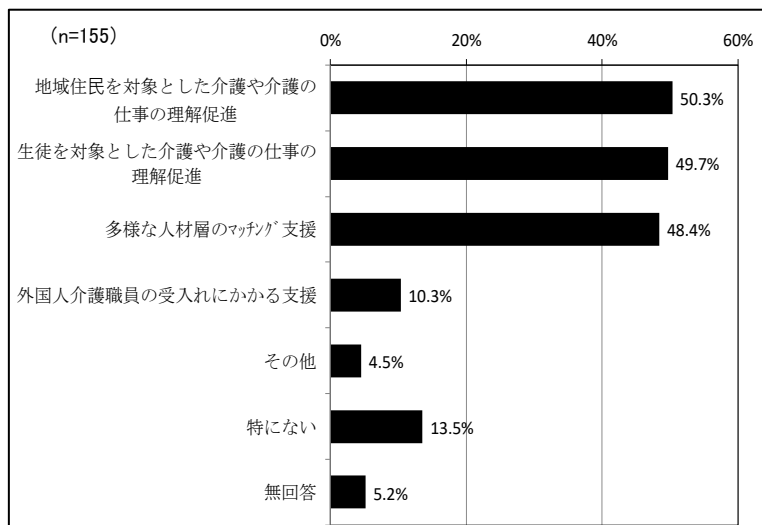


・回答事業所全体の過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数をみると、「採用者」は267人、離職者は222人、「増減数（採用者数 - 離職者数）」は45人だった。

※有効回答のあった80事業所を集計
 ※開設から1年以上経過している事業所のみ集計

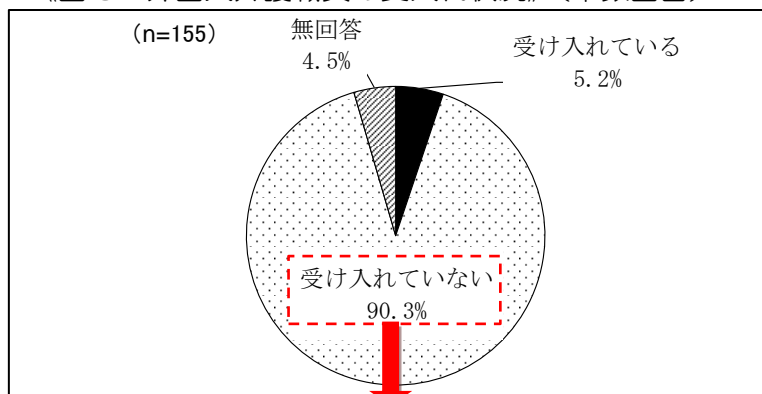
(2) 施設・事業所の取組みや考え

《図2 介護職員の確保に関して市に求める支援》(単数回答)



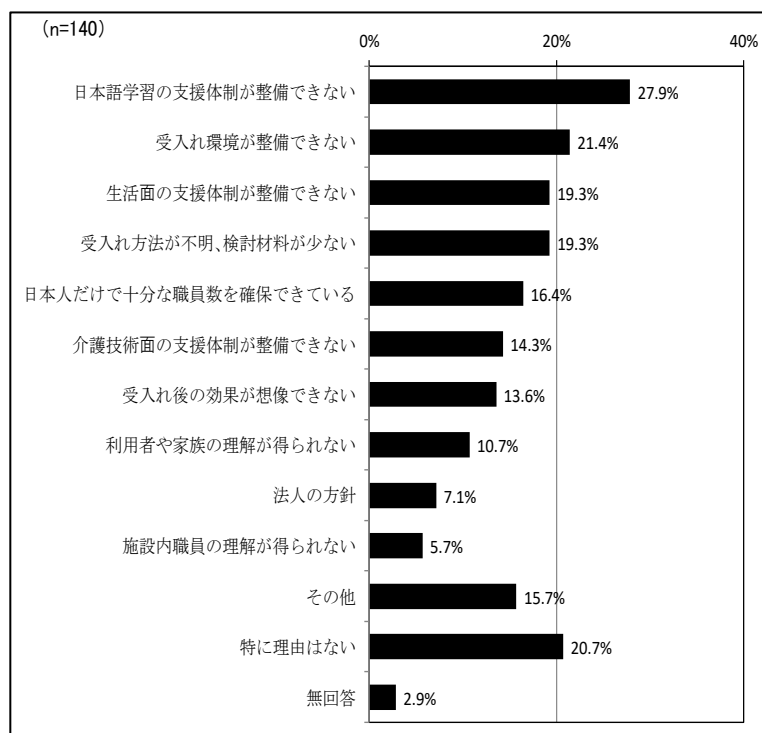
・介護職員の確保に関して市に求める支援は、「地域住民を対象とした介護や介護の仕事の理解促進」が50.3%、「生徒を対象とした介護や介護の仕事の理解促進」が49.7%だった。

《図3 外国人介護職員の受入れ状況》(単数回答)



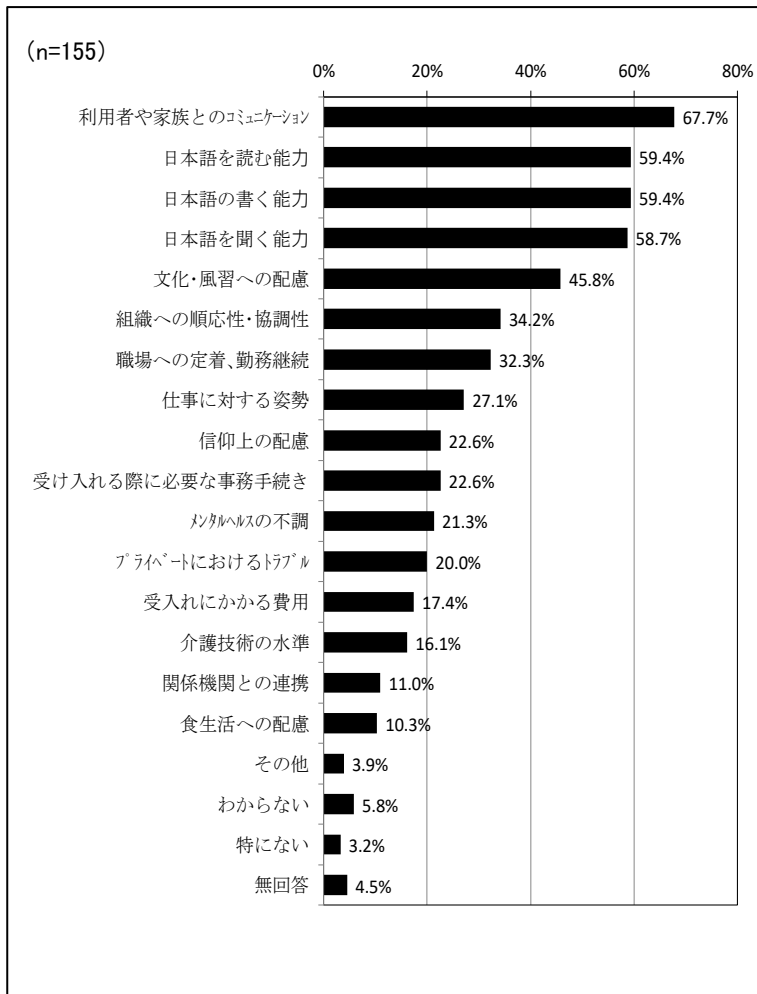
・外国人介護職員を受け入れている施設・事業所は、5.2%だった。

《図4 外国人介護職員を受け入れているいない理由》(単数回答)



・外国人介護職員を受け入れているいない理由は、「日本語学習の支援体制が整備できていない」が27.9%、「受入れ環境が整備できない」が21.4%だった。

《図5 外国人介護職員の受入れにおいて課題と感ずること》(単数回答)

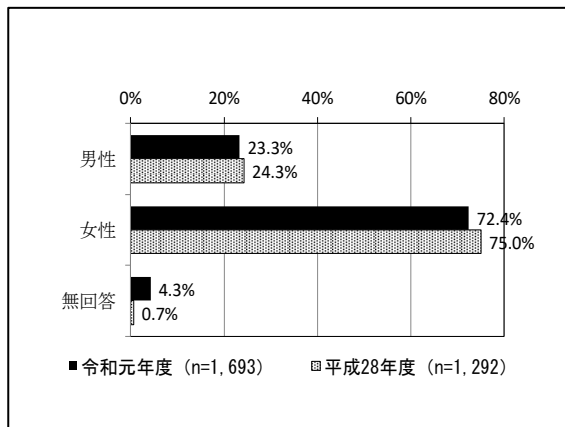


・外国人介護職員の受入れにおいて課題と感ずることは、「利用者や家族とのコミュニケーション」が67.7%、「日本語を読む能力」が59.4%、「日本語を書く能力」が59.4%、「日本語を聞く能力」が58.7%だった。

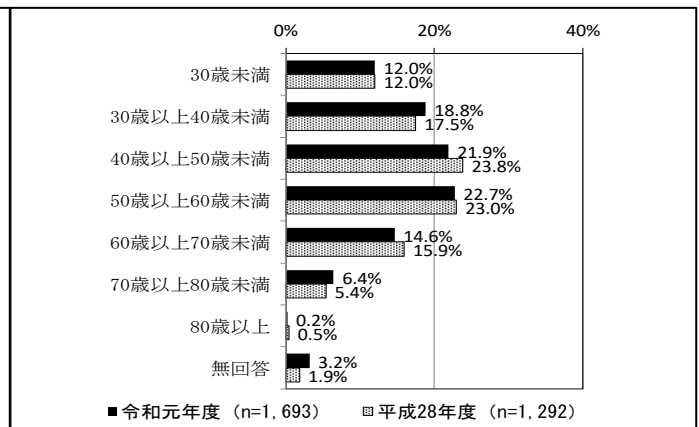
3 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査（職員票）調査結果の概要

(1) 回答者の属性

《図6 性別》(単数回答)

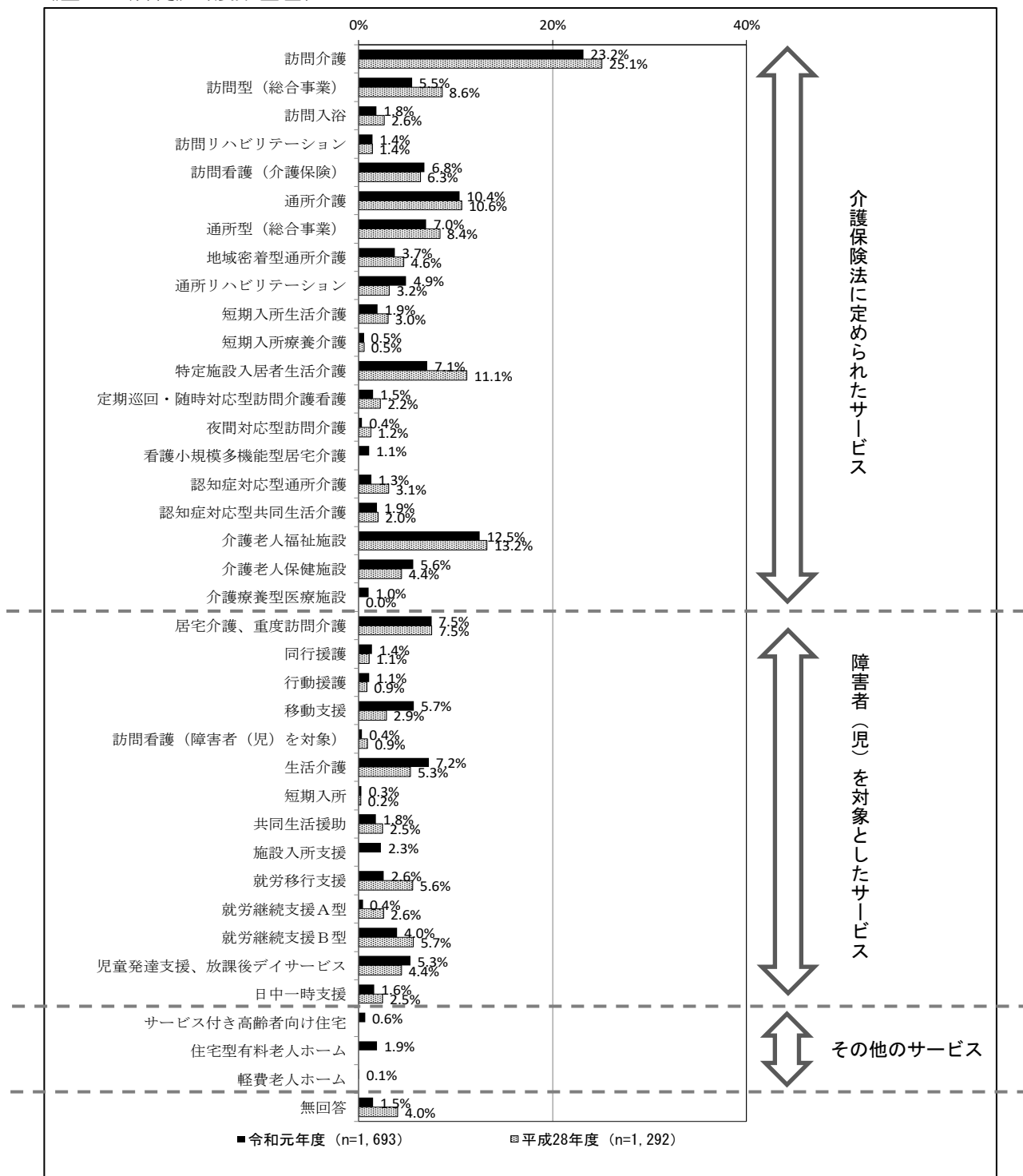


《図7 年齢》(単数回答)



- ・性別は「男性」が23.3%、「女性」が72.4%だった。
- ・年齢は「50歳以上～60歳未満」が22.7%、「40歳以上～50歳未満」が21.9%となっている。

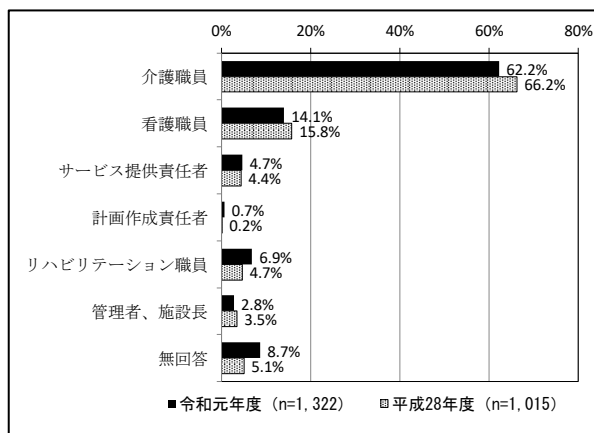
《図8 所属》（複数回答）



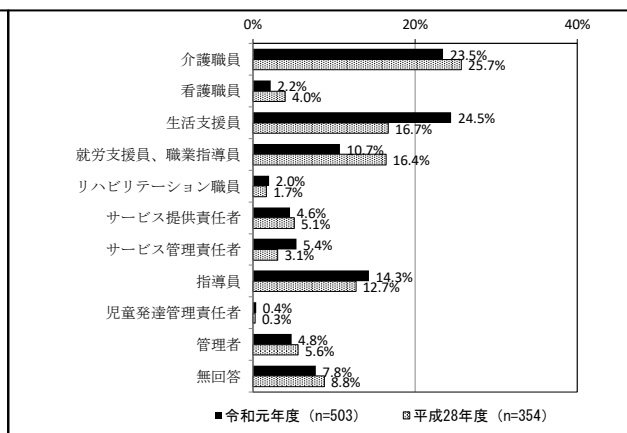
・介護保険法に定められたサービスでは、「訪問介護」が23.2%、「介護老人福祉施設」が12.5%だった。

また、障害者（児）を対象としたサービスでは、「居宅介護、重度訪問介護」が7.5%、「生活介護」が7.2%となっている。

《図9 主な職種（介護保険）》（単数回答）

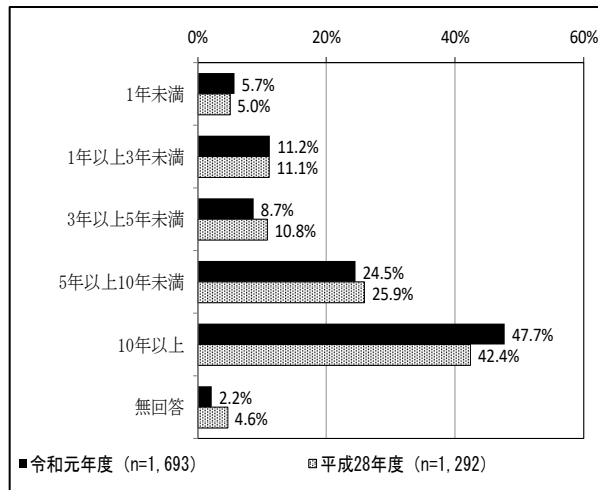


《図10 主な職種（障害）》（単数回答）

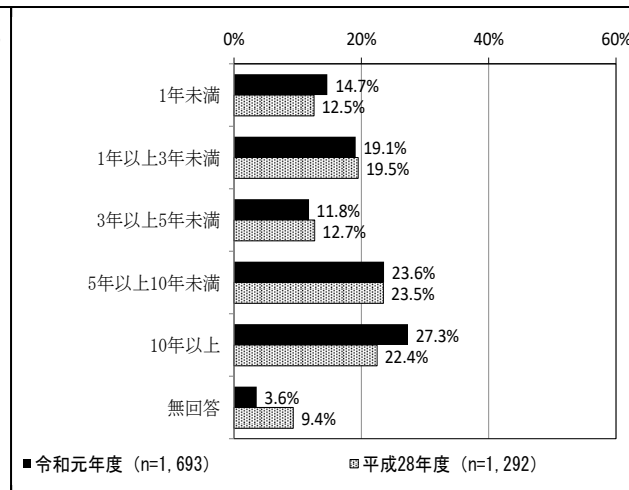


- ・介護保険法に定められたサービスにおける主な職種は、「介護職員」が62.2%だった。
- ・障害者（児）を対象としたサービスにおける主な職種は、「生活支援員」が24.5%となっている。

《図11 経験年数》（単数回答）



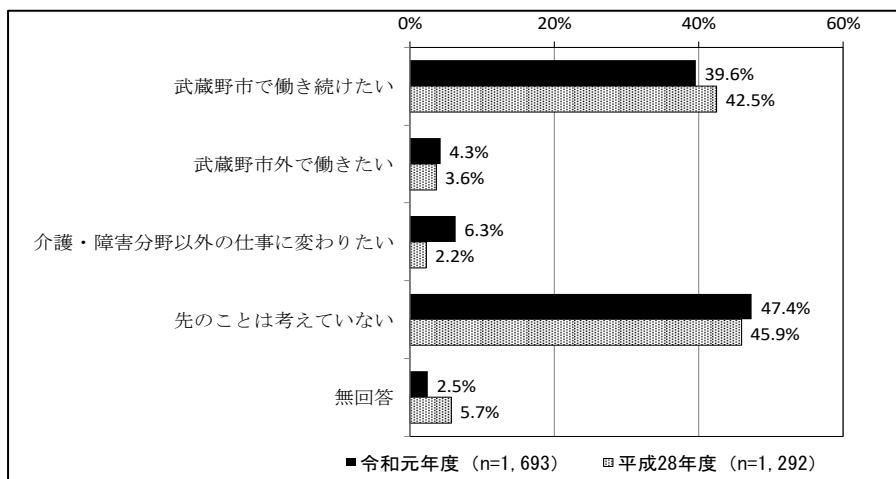
《図12 武蔵野市での経験年数》（単数回答）



- ・経験年数は「10年以上」が47.7%、「5年以上10年未満」が24.5%だった。
- ・武蔵野市での経験は「10年以上」が27.3%、「5年以上10年未満」が23.6%となっている。

（2）約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向

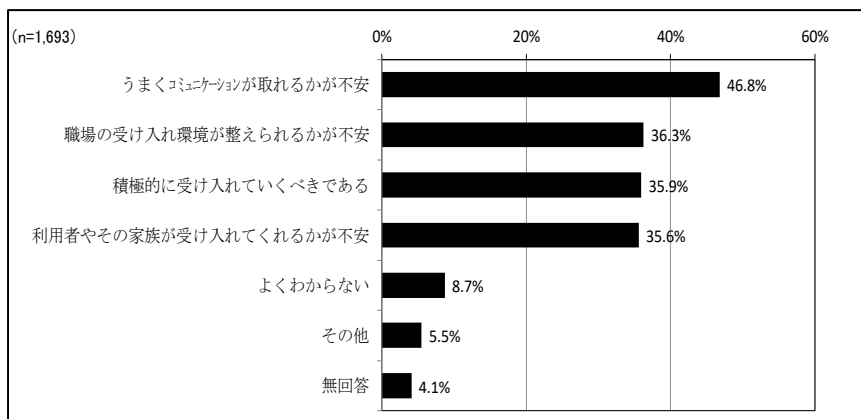
《図13 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向》（単数回答）



- ・約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向は、「武蔵野市で働き続けたい」が39.6%、「先のことは考えていない」が47.4%だった。

(3) 外国人労働者の受け入れに対する考え

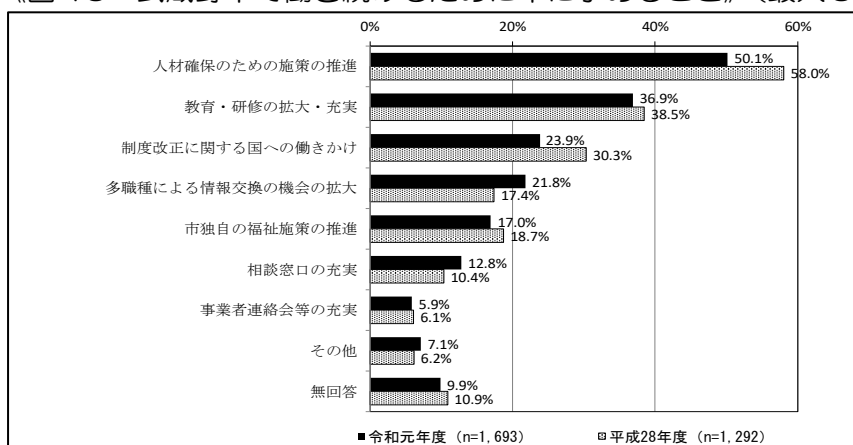
《図 14 外国人労働者の受け入れに対する考え》(最大3つまで)



・外国人労働者の受け入れに対しては、「言語の違いにより、うまくコミュニケーションが取れるかが不安」が46.8%、「職場の受け入れ環境が整えられるかが不安」が36.3%だった。

(4) 武蔵野市で働き続けるために市に求めること

《図 15 武蔵野市で働き続けるために市に求めること》(最大3つまで)

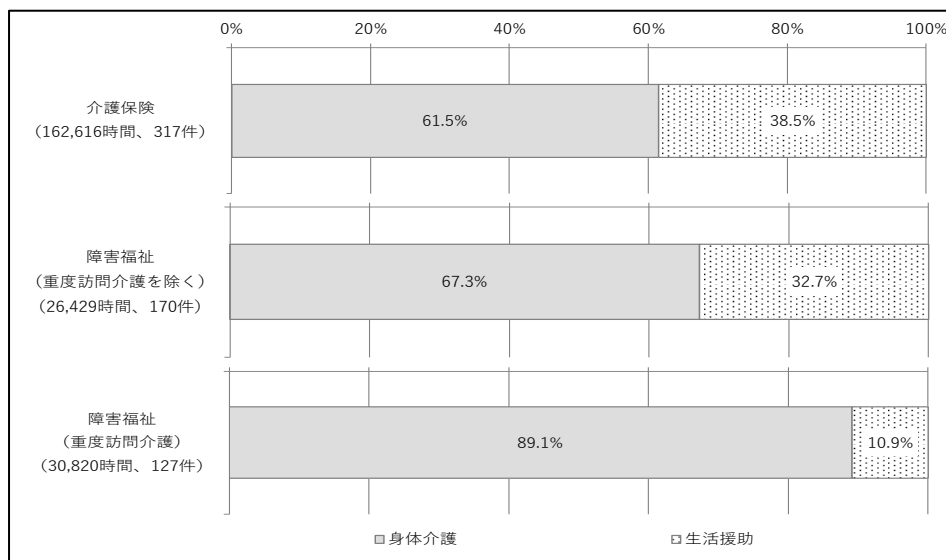


・武蔵野市で働き続けるために求めることとして、「人材確保のための施策の推進」が50.1%と最も多く、次いで「教育・研修拡大・充実」が36.9%、「制度改正に関する国への働きかけ」が23.9%だった。

(5) 1週間の訪問サービスにおける提供時間

「訪問介護」、「訪問型サービス(介護予防・日常生活支援総合事業)」、「訪問入浴」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「夜間対応型訪問介護」、「居宅介護」、「重度訪問介護」、「同行援護」、「行動援護」、「移動支援」に所属している介護職員を対象

《図 16 1週間の訪問サービスにおける提供時間》(数値回答)



・介護保険法に定められた訪問サービスの1週間の提供時間のうち、「身体介護」は61.5%、「生活援助」は38.5%だった。

・障害福祉(重度訪問介護を除く)の訪問サービスの1週間の提供時間のうち、「身体介護」は67.3%、「生活援助」は32.7%となっている。

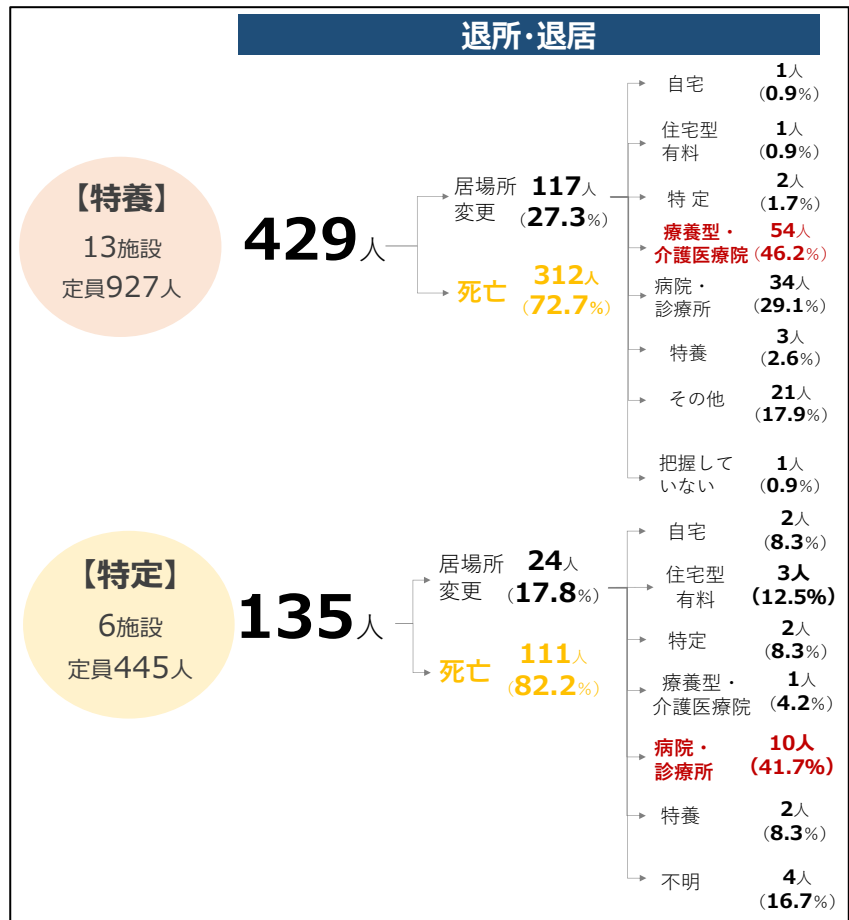
・重度訪問介護の1週間の提供時間のうち、「身体介護」は89.1%、「生活援助」は10.9%だった。

4 武蔵野市介護施設等における入退所調査 調査結果の概要

(1) 入所・入居及び退所・退居の流れ

《図 17 過去2年間の入所・入居及び退所・退居の流れ》(単数回答)

- ・過去2年間に「特別養護老人ホーム」13施設から退所した人数は429人だった。そのうち、死亡者は72.7%の312人だった。
- また、居所を変更した方の行先で最も多いのは「介護療養型医療施設・介護医療院」だった。
- ・過去2年間に「特定施設入居者介護」6施設から退居した人数は135人だった。そのうち、死亡者は82.2%の111人だった。
- また、居所を変更した方の行先で最も多いのは「病院・診療所」だった。



(2) 退所・退居者の要支援・要介護度

《図 18 退所・退居者の要支援・要介護度》(数値回答) (合計値、下段割合)

	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
特別養護老人ホーム (n=13)	0	0	0	0	1	14	37	65	0	117
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	12.0%	31.6%	55.6%	0.0%	100.0%
介護老人保健施設 (n=3)	0	0	0	39	56	116	108	77	0	396
	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%	14.1%	29.3%	27.3%	19.4%	0.0%	100.0%
介護療養型医療施設 (n=1)	0	0	0	0	0	2	7	8	3	20
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	35.0%	40.0%	15.0%	100.0%
特定施設入居者生活介護 (n=6)	0	1	0	5	7	5	4	2	0	24
	0.0%	4.2%	0.0%	20.8%	29.2%	20.8%	16.7%	8.3%	0.0%	100.0%
グループホーム (n=2)	0	0	0	0	0	0	1	5	0	6
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	100.0%
住宅型有料老人ホーム (n=3)	0	0	0	1	5	1	3	1	0	11
	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	45.5%	9.1%	27.3%	9.1%	0.0%	100.0%
軽費老人ホーム (n=1)	0	0	0	0	2	2	1	0	0	5
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%

※上表内の数値に死亡された方は含んでいない。

(3) 入所・入居者の退去理由

《図 19 入所・入居者の退去理由》(上位3つまで回答) (単位:件数)

・退去理由は全体として「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が最も多かった。

	必要な生活支援が発生・増大した	必要な身体介護が発生・増大した	認知症の症状が悪化した	医療的ケア・医療処置の必要性が高まった	左記以外の状態像が悪化した	入所・入居者の状態像が改善した	必要な居宅サービスの利用を望まなかった	費用負担が重くなった	その他	無回答
全体 (n=29)	3	6	3	22	8	6	0	8	16	1
特別養護老人ホーム (n=13)	0	0	2	12	3	2	0	0	8	1
介護老人保健施設 (n=3)	0	2	0	3	0	3	0	0	1	0
介護療養型医療施設 (n=1)	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0
特定施設入居者生活介護 (n=6)	0	1	0	3	1	1	0	4	5	0
グループホーム (n=2)	2	2	0	1	0	0	0	1	0	0
住宅型有料老人ホーム (n=2)	0	0	0	2	3	0	0	2	2	0
軽費老人ホーム (n=1)	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0

(4) 入所・入居者の医療処置を受けている人数・割合

《図 20 入所・入居者の医療処置を受けている人数・割合》(数値回答)(合計値、下段割合)

・入所・入居者の医療処置は全体として「喀痰吸引(55人)」「経管栄養(48人)」が多かった。

	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマの処	酸素療法	レスピレータ	気管切開の処	疼痛の看護	経管栄養	モニター測定	褥瘡の処置	カテーテル	喀痰吸引	インスリン注	入居・入所者数
全体 (n=29)	3	1	2	10	13	0	0	7	48	3	34	18	55	12	1,564
	0.2%	0.1%	0.1%	0.6%	0.8%	0.0%	0.0%	0.4%	3.1%	0.2%	2.2%	1.2%	3.5%	0.8%	100.0%
特別養護老人ホーム (n=13)	0	0	1	5	4	0	0	0	20	0	13	8	17	1	890
	0.0%	0.0%	0.1%	0.6%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	1.5%	0.9%	1.9%	0.1%	100.0%
介護老人保健施設 (n=3)	0	0	0	3	0	0	0	0	6	0	4	0	4	0	123
	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
介護療養型医療施設 (n=1)	2	1	0	0	2	0	0	0	6	3	1	4	8	0	16
	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	18.8%	6.3%	25.0%	50.0%	0.0%	100.0%
特定施設入居者生活介護 (n=6)	1	0	1	2	6	0	0	7	16	0	15	4	17	9	374
	0.3%	0.0%	0.3%	0.5%	1.6%	0.0%	0.0%	1.9%	4.3%	0.0%	4.0%	1.1%	4.5%	2.4%	100.0%
グループホーム (n=2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
住宅型有料老人ホーム (n=2)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	9	0	99
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	2.0%	9.1%	0.0%	100.0%
軽費老人ホーム (n=1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	26
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	100.0%

※割合は各セルの人数を施設等ごとの入居・入所者数で除して算出

第3章 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査結果

【事業所票】

1. 事業所の属性

問1 介護職員・看護職員・リハビリテーション職員の総数を実人数でお答えください。
(令和元年10月1日現在) ※数値を記入、いない場合は「0」と記入

各施設・事業所の職員数は以下の通りであった。

(訪問系) ※訪問看護、訪問リハビリテーションを除く

	件数	平均値	最大値	最小値
介護職員_正規	31	4.8	19	0
介護職員_非正規	30	19.7	91	0

(訪問看護、訪問リハビリテーション)

	件数	平均値	最大値	最小値
看護職員_正規	19	4.3	21	0
看護職員_非正規	18	2.8	16	0
リハビリテーション職員_正規	16	2.5	7	0
リハビリテーション職員_非正規	15	1.3	8	0

(通所系)

	件数	平均値	最大値	最小値
介護職員_正規	59	5.9	52	0
介護職員_非正規	47	4.0	15	0
看護職員_正規	35	0.7	3	0
看護職員_非正規	38	1.3	6	0
リハビリテーション職員_正規	36	1.4	14	0
リハビリテーション職員_非正規	31	0.5	5	0

(施設・居住系)

	件数	平均値	最大値	最小値
介護職員_正規	23	13.5	59	0
介護職員_非正規	23	9.6	34	0
看護職員_正規	20	2.8	9	0
看護職員_非正規	20	2.1	7	0
リハビリテーション職員_正規	20	1.6	13	0
リハビリテーション職員_非正規	17	0.1	2	0

(看多機)

	件数	平均値	最大値	最小値
介護職員_正規	1	6.0	6	6
介護職員_非正規	1	3.0	3	3
看護職員_正規	1	3.0	3	3
看護職員_非正規	1	3.0	3	3

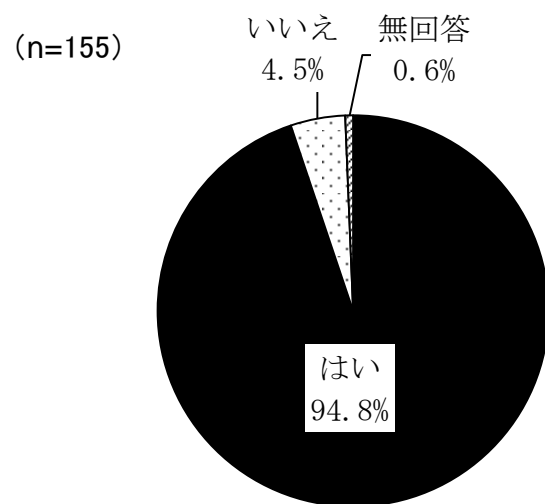
(児童系)

	件数	平均値	最大値	最小値
介護職員_正規	12	2.4	5	0
介護職員_非正規	11	4.0	18	0
看護職員_正規	11	0.4	3	0
看護職員_非正規	10	0.1	1	0
リハビリテーション職員_正規	11	0.3	2	0
リハビリテーション職員_非正規	10	0.6	6	0

(住宅系)

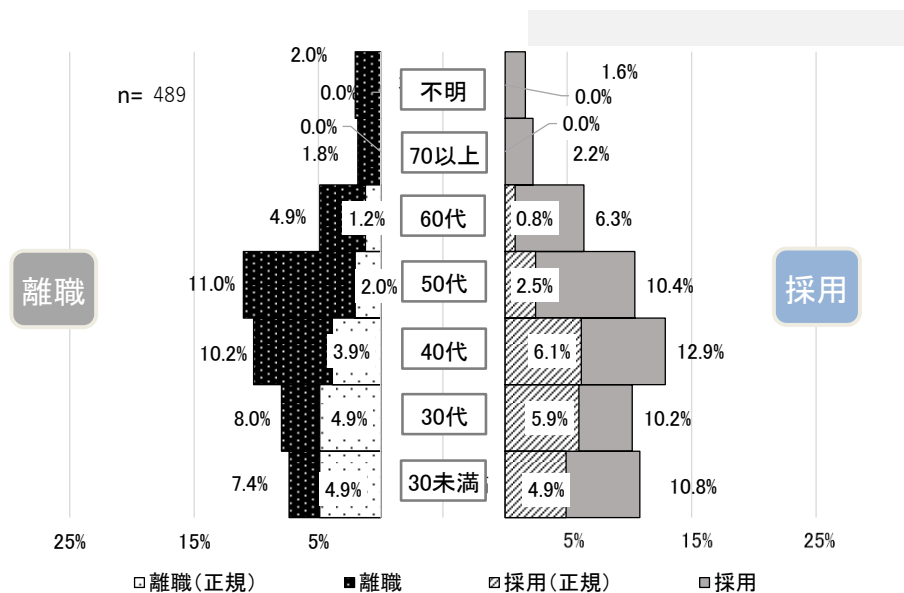
	件数	平均値	最大値	最小値
介護職員_正規	4	4.3	9	0
介護職員_非正規	4	5.5	12	0
看護職員_正規	4	0.5	2	0
看護職員_非正規	4	2.3	4	0

問2 貴施設・事業所はこの調査票を受け取った時点で、開設から1年以上経過していますか。※あてはまるもの1つに「○」



開設から1年以上経過している施設・事業所は、94.8%であった。

問3 過去1年間（平成30年10月1日～令和元年9月30日）の介護職員の採用者数と離職者数を年齢別に実人数でお答えください。※数値を記入、該当者がいない場合は「0」と記入



※上記割合は、採用と離職の合計（n）に対する割合

（単位:人）

	離職者数（うち正規）	採用者数（うち正規）	増減数（うち正規）
合計	222 (83(37.4%))	267 (99(37.1%))	45 (16(35.6%))

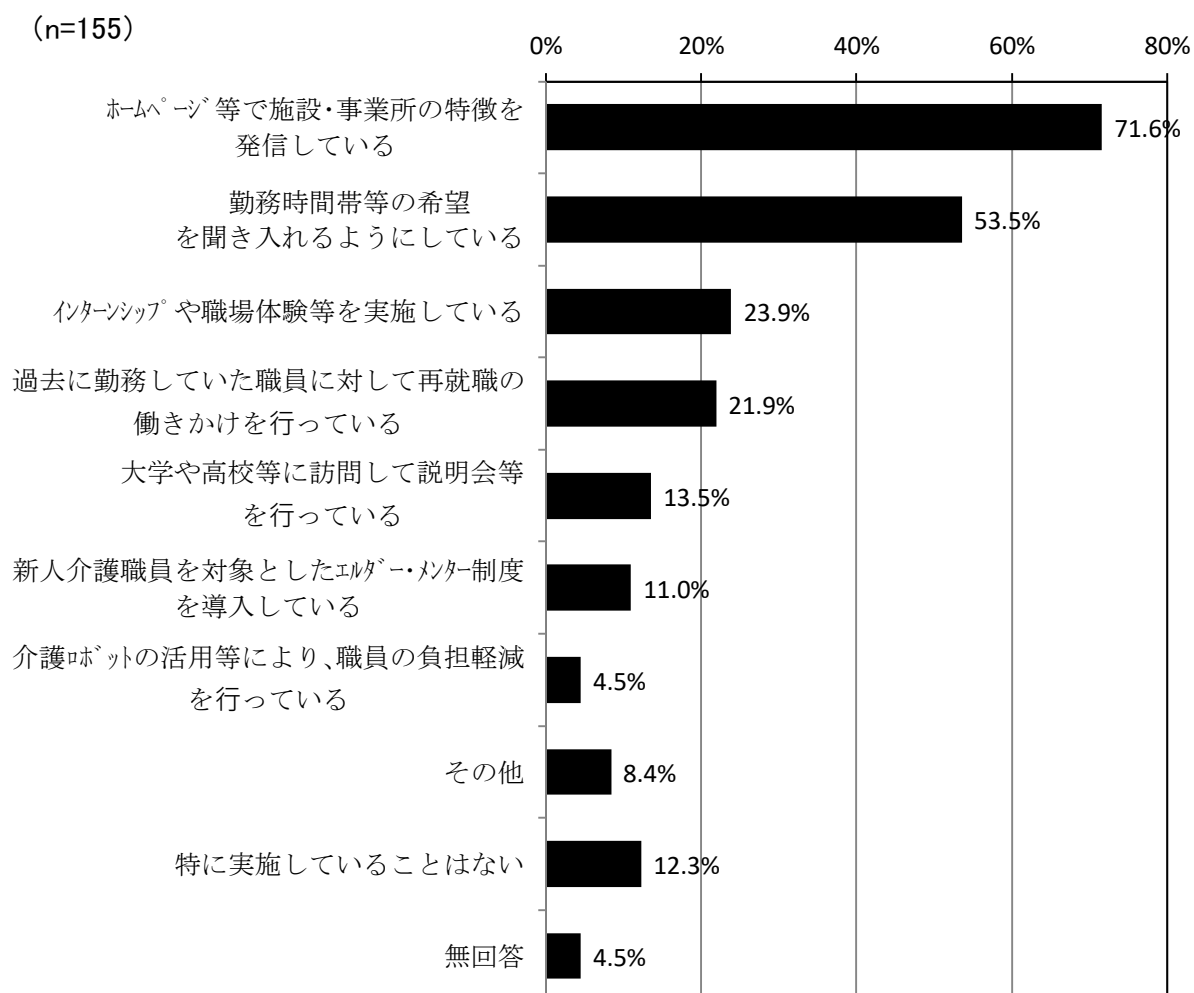
※有効回答のあった80事業所を集計

※開設から1年以上経過している施設・事業所のみ集計

回答事業所全体の過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数をみると、「採用者」は267人、離職者は222人、「増減数（採用者数 - 離職者数）」は45人だった。

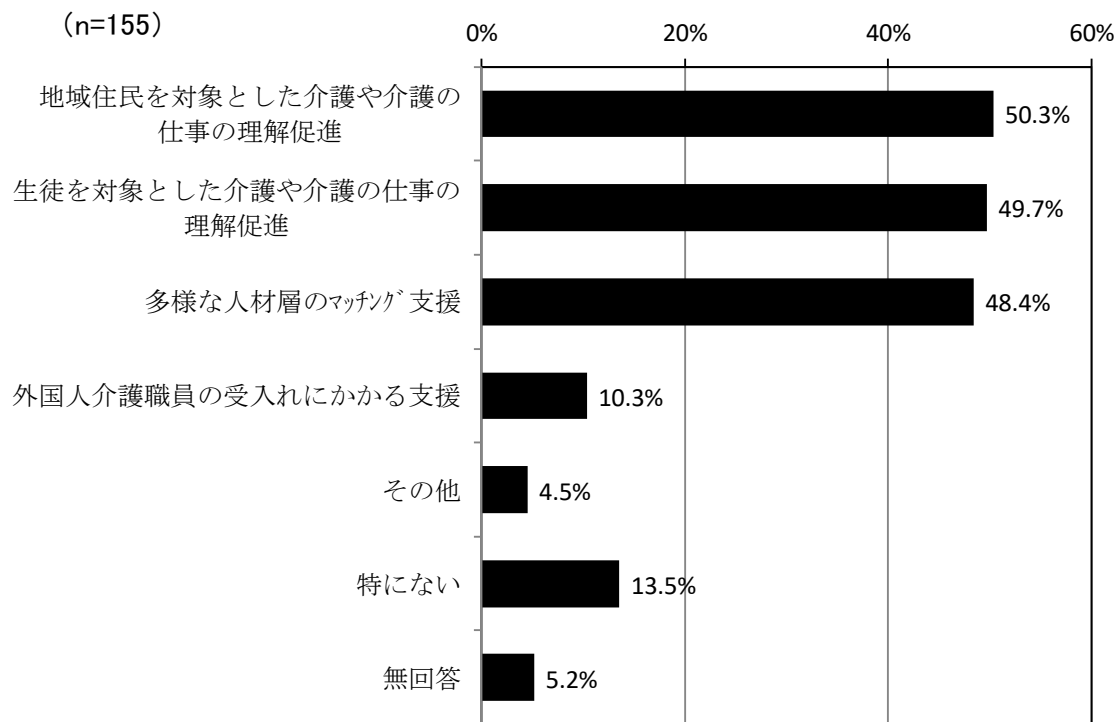
2. 介護職員の確保に向けて実施している取組み

問4 介護職員の確保に向けて実施している取組みについてお答えください。※あてはまるものすべてに「○」



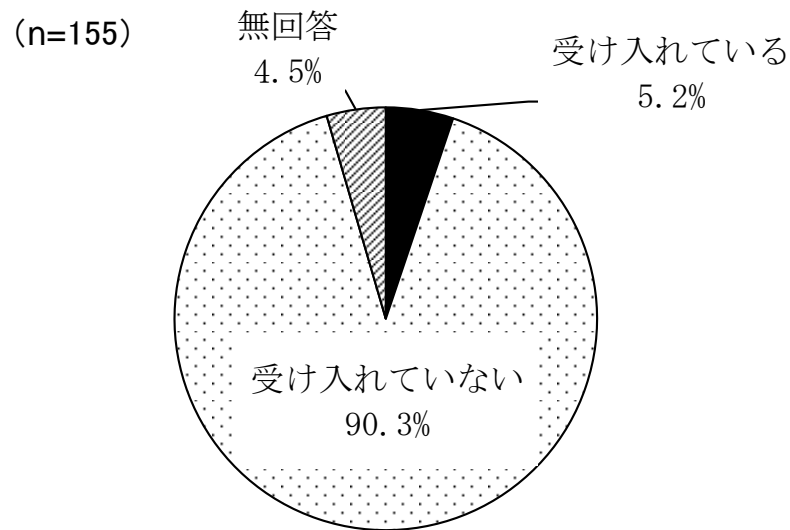
介護職員の確保に向けて実施している取組みは、「ホームページ等で施設・事業所の特徴を発信している」が71.6%と最も高く、次いで「勤務時間帯等の希望を聞き入れるようにしている」が53.5%、「インターンシップや職場体験等を実施している」が23.9%であった。

問5 介護職員の確保に関して市に求める支援についてお答えください。 ※あてはまるものすべてに「○」



介護職員の確保に関して市に求める支援は、「地域住民を対象とした介護や介護の仕事の理解促進」が50.3%と最も高く、次いで「生徒を対象とした介護や介護の仕事の理解促進」が49.7%、「多様な人材層のマッチング支援」が48.4%であった。

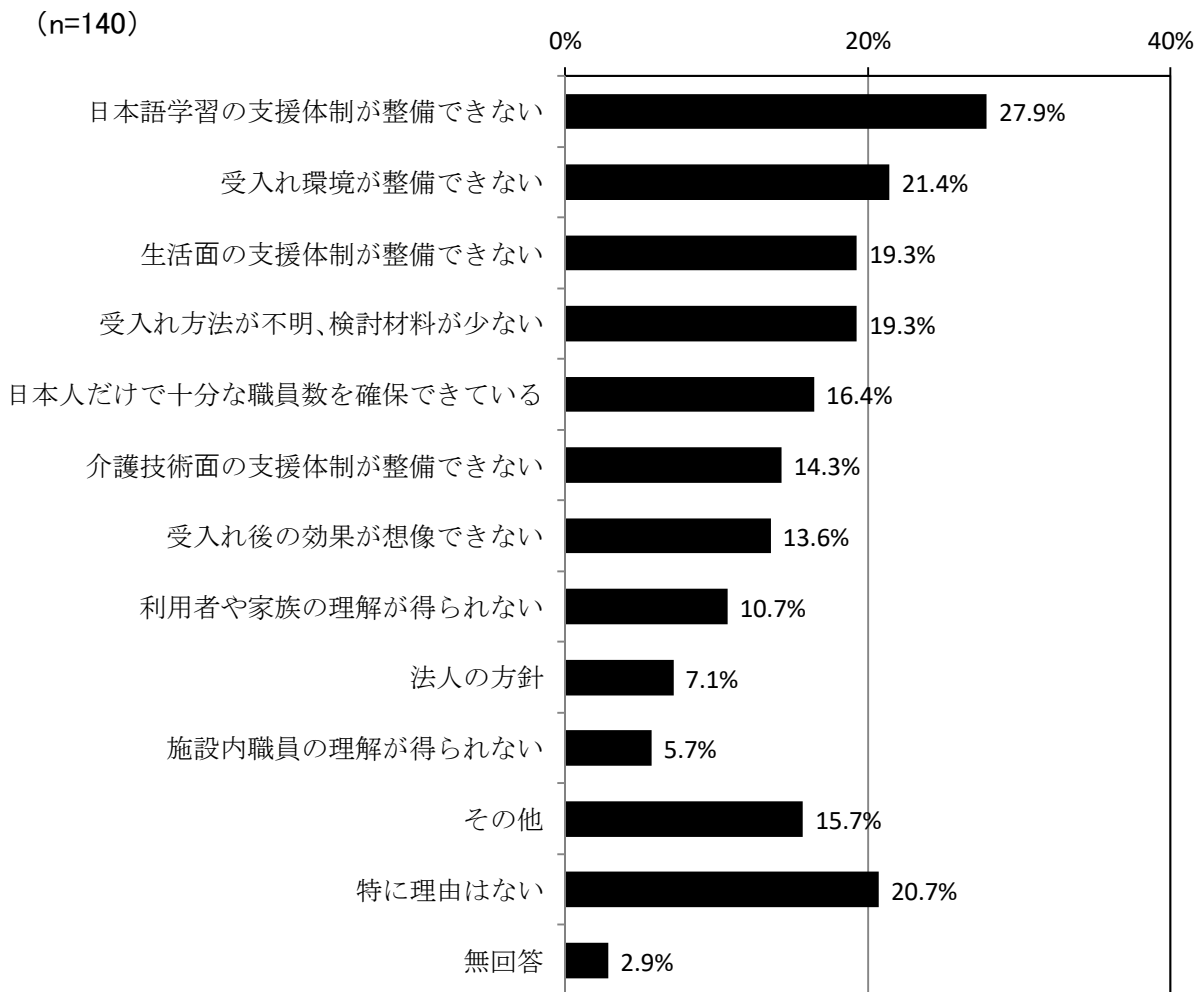
問6 現在、外国人介護職員（日本語が母語でない外国人）を受け入れていますか。※あてはまるもの1つに「○」



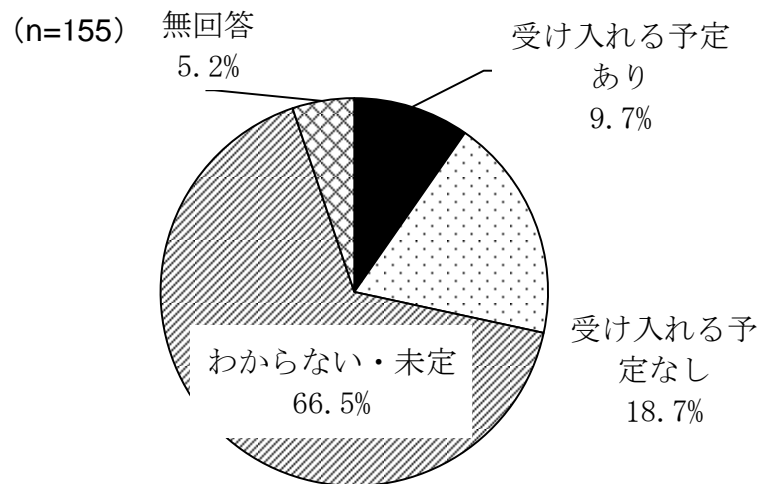
	事業所数	合計（人）	平均値（人）
Q6-1 外国人介護職員の受入れ件数	8	24	3.0

外国人介護職員を受け入れている施設・事業所は、5.2%であった。また、外国人介護職員の受入れ人数の平均値は3人であった。

問6-1 (問6で②と回答した方のみ回答) 外国人介護職員を受け入れていない理由は何ですか。 ※あてはまるものすべてに「○」

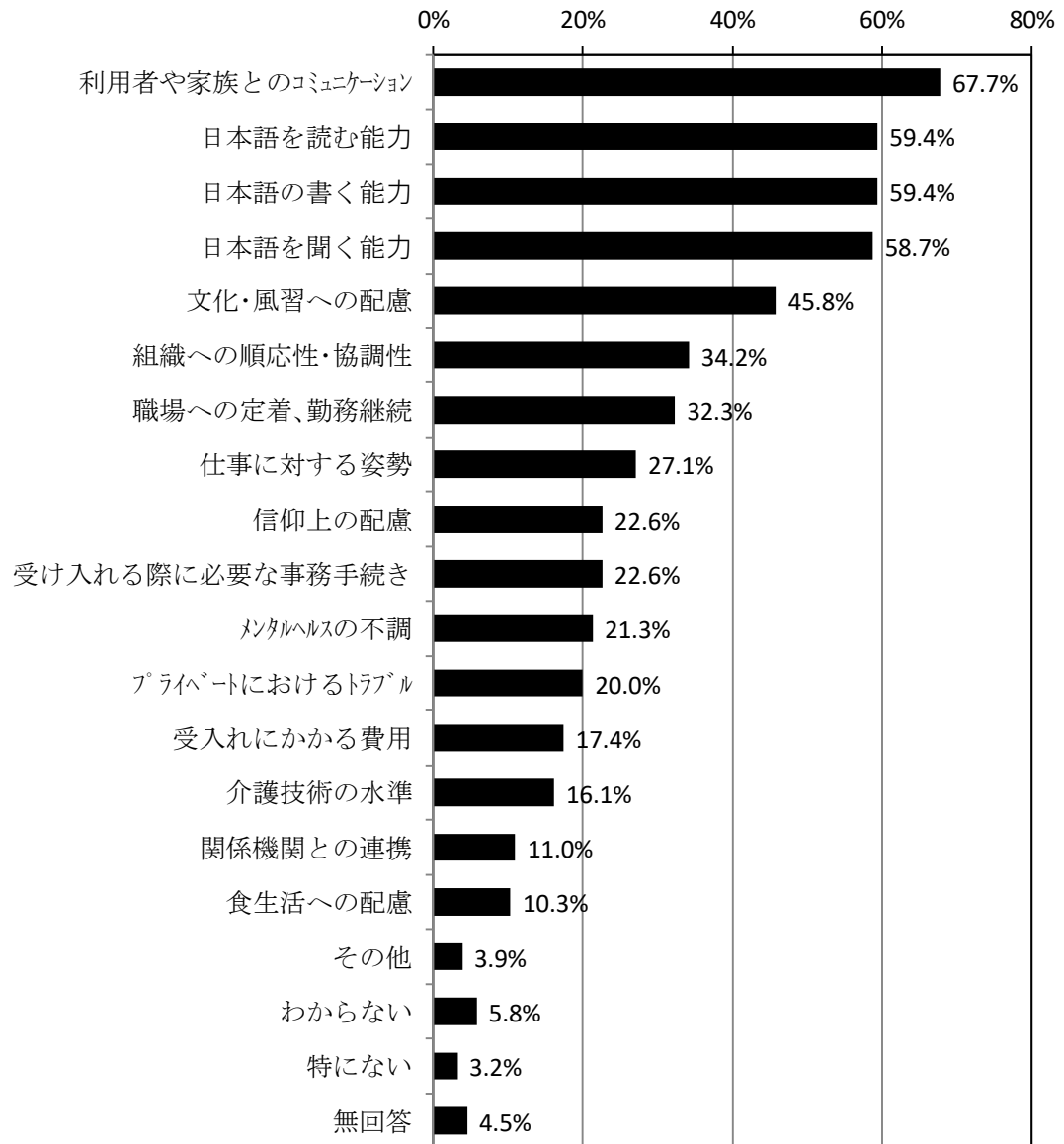


問7 今後、外国人介護職員を受け入れる予定ですか。 ※あてはまるもの1つに「○」



問8 外国人介護職員の受入れにおいて課題と感ずることは何ですか。 ※あてはまるものすべてに「○」

(n=155)



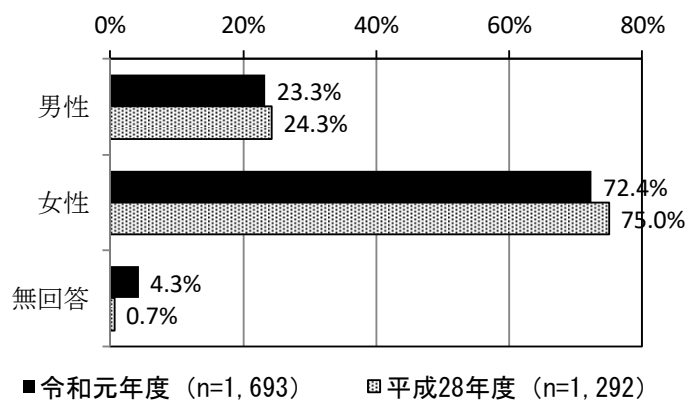
外国人介護職員の受入れにおいて課題と感ずることは、「利用者や家族とのコミュニケーション」が67.7%と最も高く、次いで「日本語を読む能力」「日本語を書く能力」が59.4%、「日本語を聞く能力」が58.7%であった。

【職員票】

3. 回答者の属性

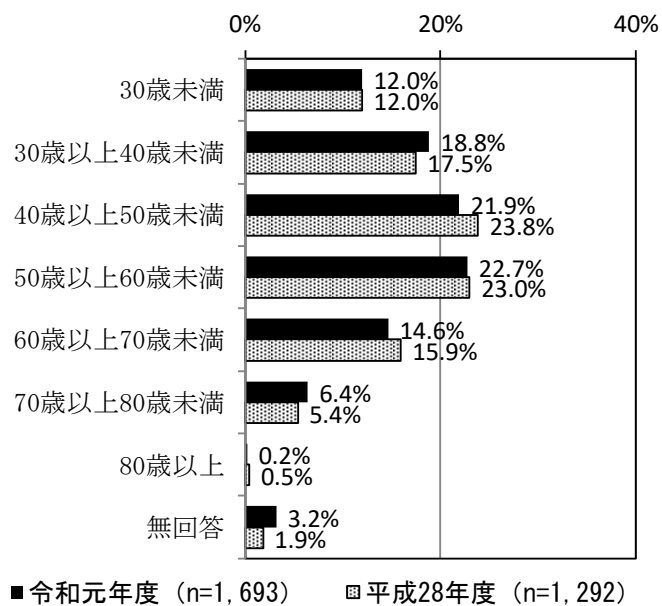
ここでは、回答のあった介護職員、看護職員、リハビリテーション職員 1,693 名の属性について記す。

Q1 性別（1つにチェック）



性別は、「男性」が 23.3%、「女性」が 72.4%となっている。

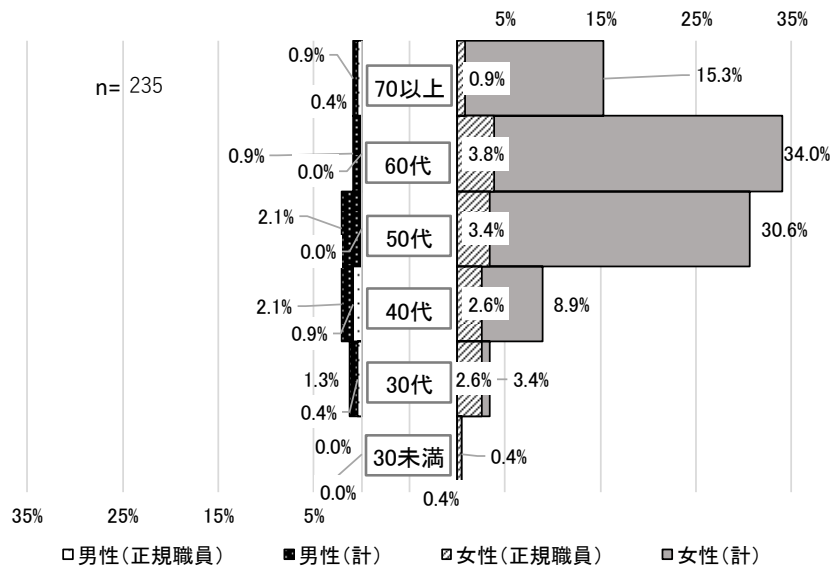
Q2 年齢（数字を記入）※令和元年 10 月 1 日現在



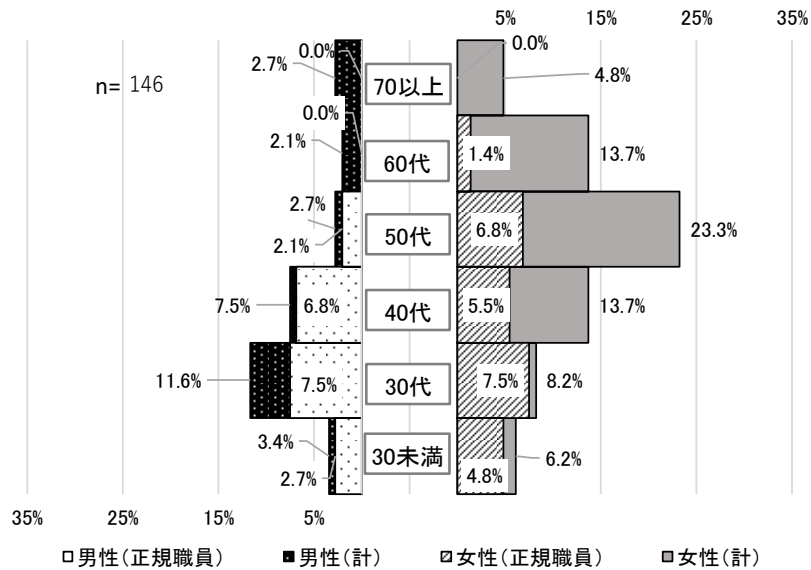
年齢区分は、「50歳以上 60歳未満」が 22.7%、「40歳以上 50歳未満」が 21.9%、次いで「30歳以上 40歳未満」が 18.8%となっている。

<男女別・年齢別の介護職員の割合（介護保険法に定められたサービス、その他のサービス）>

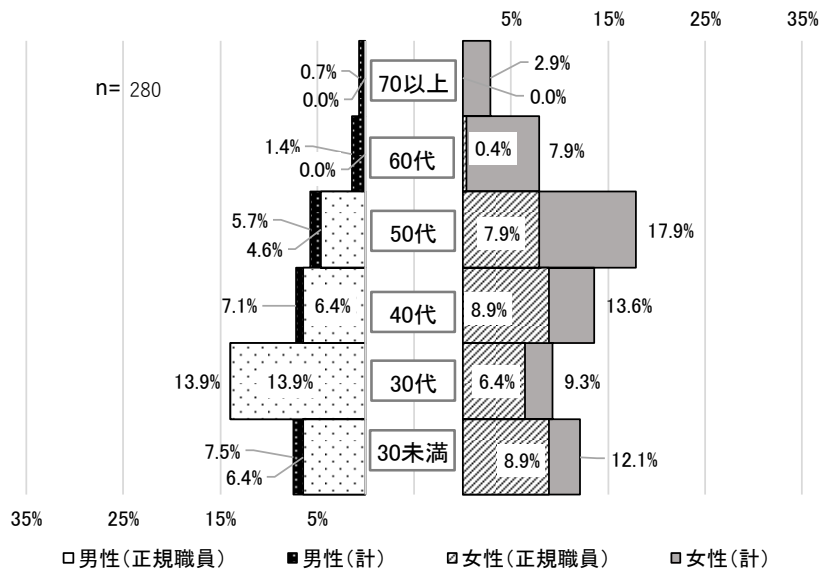
<訪問系サービス>



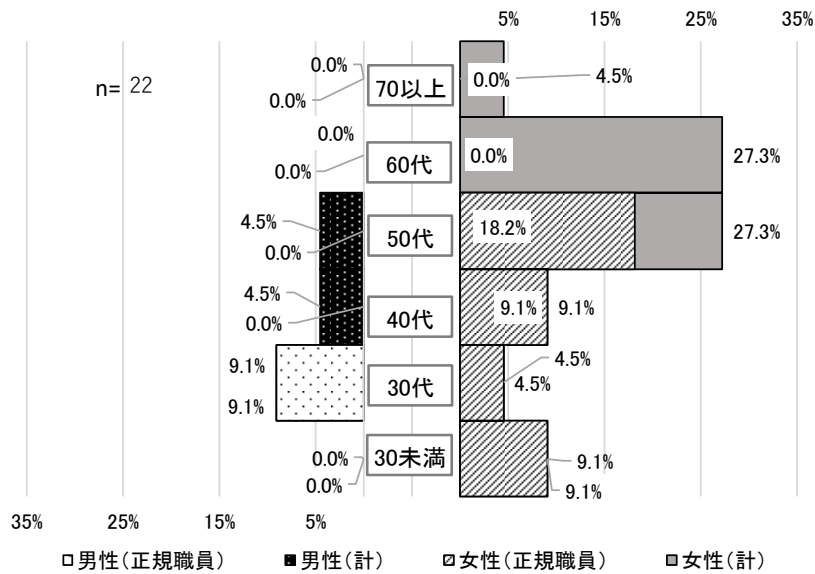
<通所系サービス>



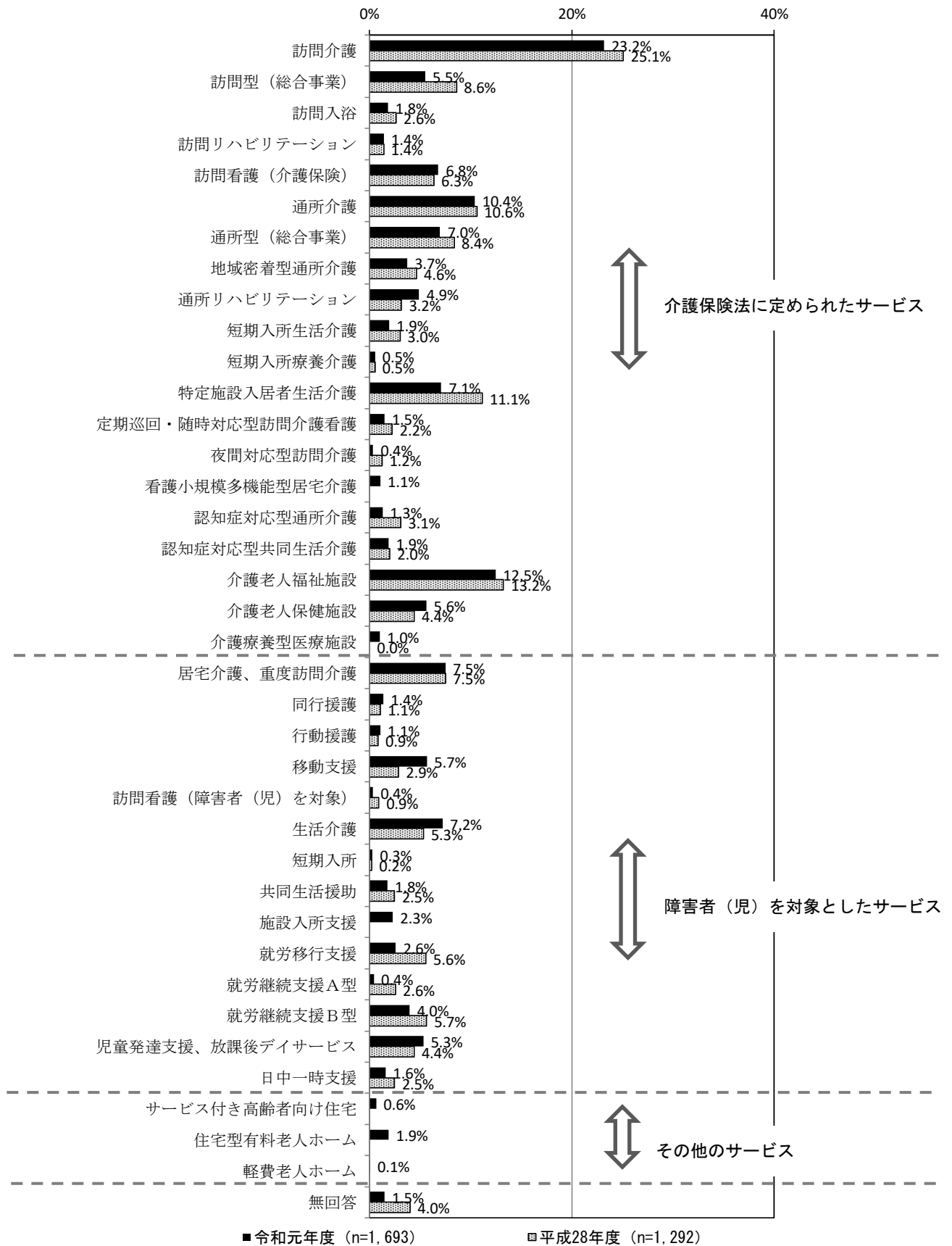
<施設・居住系サービス>



<住宅系サービス>



Q3 所属（複数チェック可）※兼務先を含む



(介護保険法に定められたサービス)

介護保険法に定められたサービスでは、「訪問介護」が23.2%と最も多く、次いで「介護老人福祉施設」が12.5%、「通所介護」が10.4%となっている。

(障害者（児）を対象としたサービス)

障害者（児）を対象としたサービスでは、「居宅介護、重度訪問介護」が7.5%と最も多く、次いで「生活介護」が7.2%、「移動支援」が5.7%となっている。

(その他のサービス)

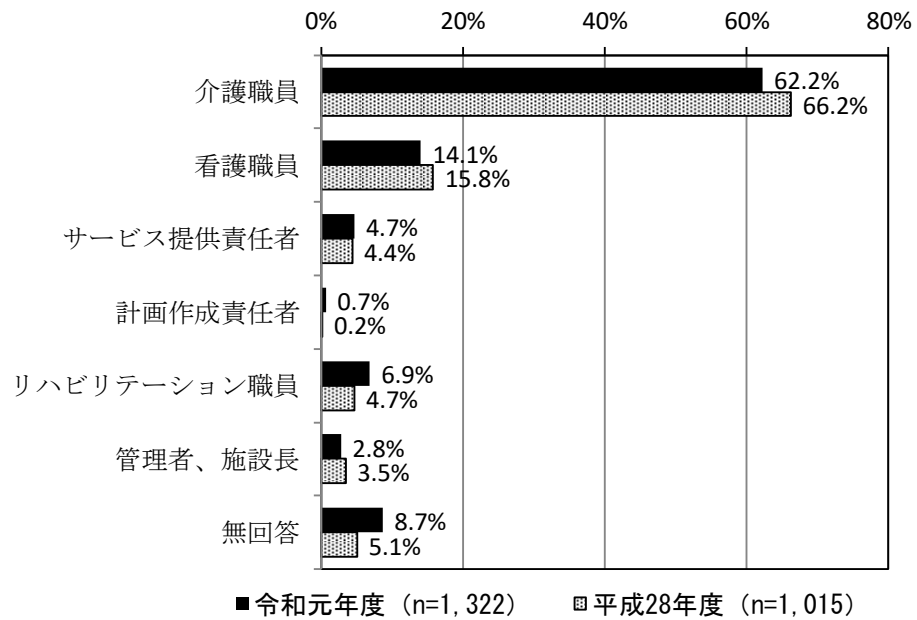
その他のサービスでは、「住宅型有料老人ホーム」が1.9%となっている。

本報告書の分析において、より傾向を把握しやすくすることを目的として、以下のように分類を行った。この分類は、前出・後出のクロス集計等に用いる。

サービスの種類	介護保険法に定められたサービス				障害者（児）を対象としたサービス				その他のサービス
	訪問系	通所系	施設・居住系	看多機	訪問系	通所系	施設・居住系	児童系	住宅系
訪問介護	○								
訪問型サービス（総合事業）	○								
訪問入浴	○								
訪問リハビリテーション	○								
訪問看護（介護保険）	○								
通所介護		○							
通所型サービス（総合事業）		○							
地域密着型通所介護		○							
通所リハビリテーション		○							
短期入所生活介護			○						
短期入所療養介護			○						
特定施設入居者生活介護			○						
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	○								
夜間対応型訪問介護	○								
看護小規模多機能型居宅介護				○					
認知症対応型通所介護		○							
認知症対応型共同生活介護			○						
介護老人福祉施設			○						
介護老人保健施設			○						
介護療養型医療施設			○						
居宅介護、重度訪問介護					○				
同行援護					○				
行動援護					○				
移動支援					○				
訪問看護（障害者（児））					○				
生活介護						○			
短期入所									
共同生活援助							○		
施設入所支援							○		
就労移行支援						○			
就労継続支援A型						○			
就労継続支援B型						○			
児童発達支援、放課後等デイサービス								○	
日中一時支援								○	
サービス付き高齢者向け住宅									○
住宅型有料老人ホーム									○
軽費老人ホーム									○

問4（1） 問3（1）（3）のサービスから1つ以上選択した方に伺います。主な職種1つに○してください。

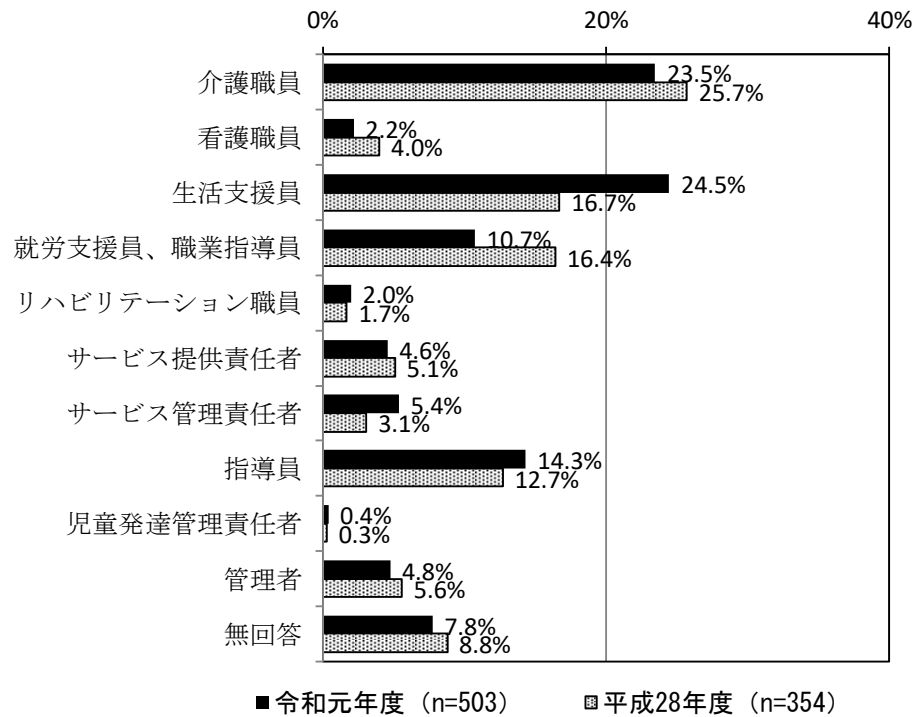
＜介護保険法に定められたサービス、その他のサービス＞



介護保険法に定められているサービスに属している人の主な職種は、「介護職員」が62.2%と最も多く、次いで「看護職員」が14.1%となっている。

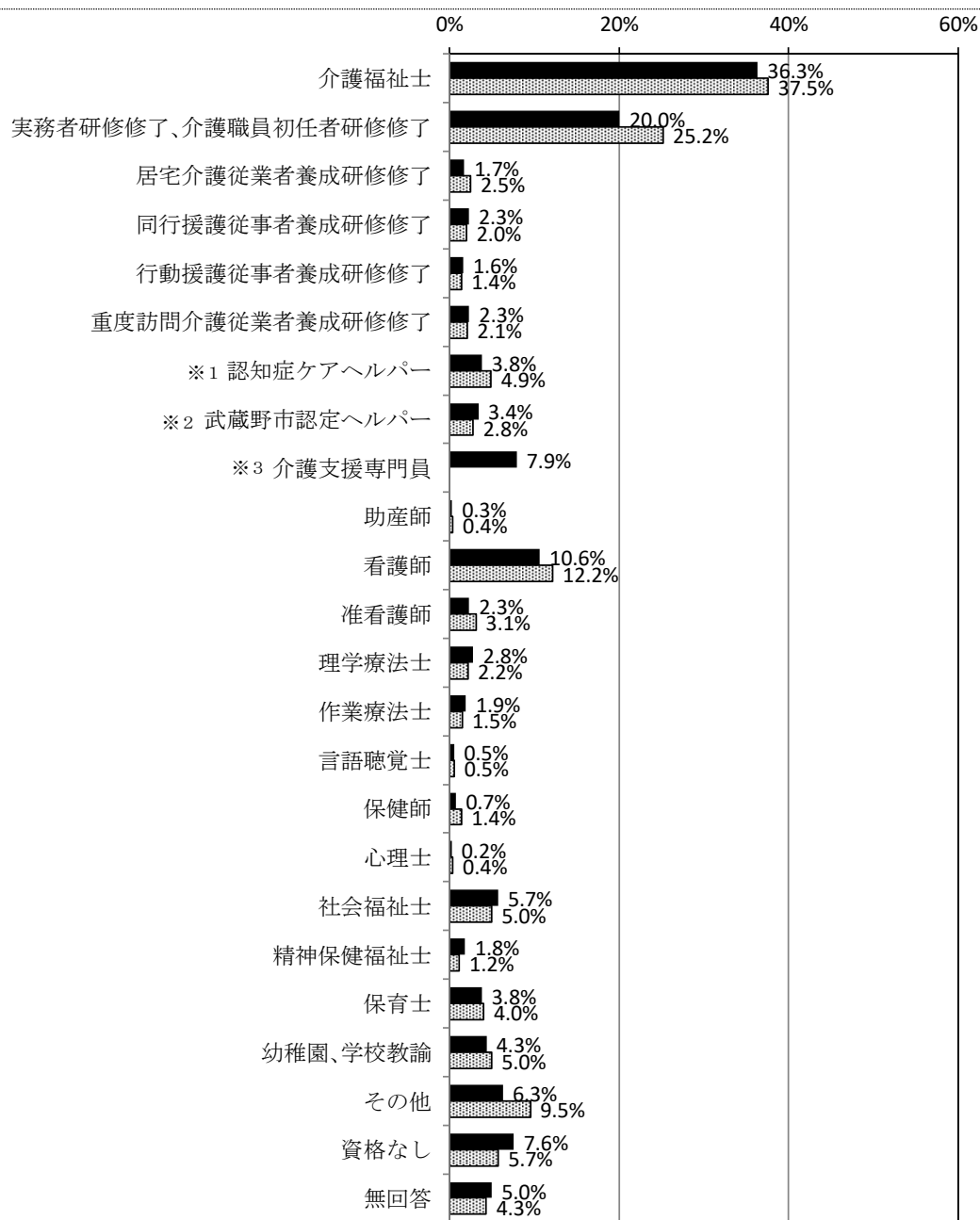
問4 (2) 問3 (2) のサービスから1つ以上選択した方に伺います。主な職種1つに○してください。

<障害者（児）を対象としたサービス>



障害者（児）を対象としたサービスに属している人の主な職種は、「生活支援員」が24.5%と最も多く、次いで「介護職員」が23.5%、「指導員」が14.3%となっている。

問5 保有資格（複数選択可）



■令和元年度 (n=1,693)

□平成28年度 (n=1,292)

※1) 「認知症ケアヘルパー」とは、武蔵野市が独自に実施する研修（16時間）を受講し、修了後に「認知症高齢者見守り支援事業」において、認知症高齢者の見守りや外出支援など、介護保険の給付対象とならないサービスを提供することができる資格

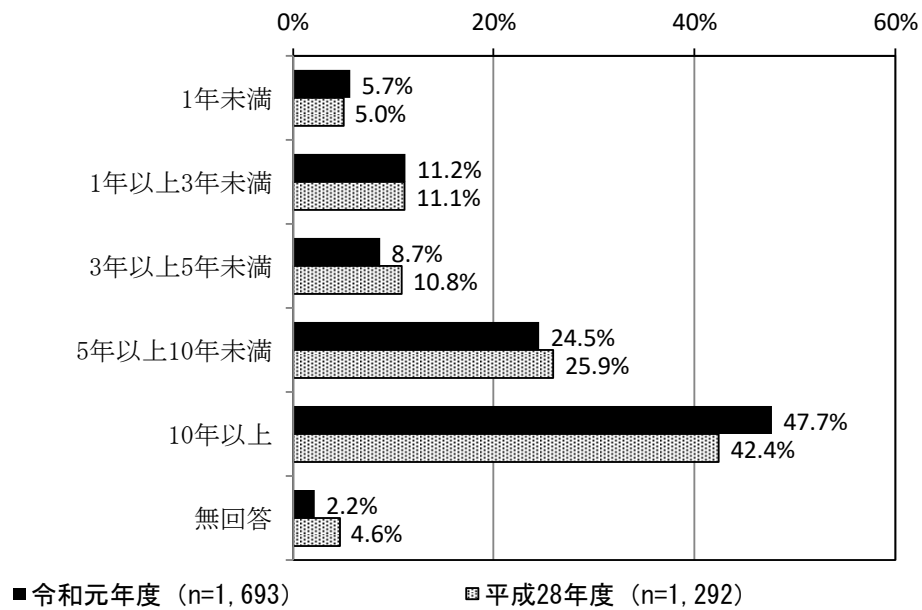
※2) 「武蔵野市認定ヘルパー」とは、武蔵野市が独自に実施する研修（3日間、18時間程度の講義及び実習）を受講し、修了後に総合事業の訪問型サービスにおいて、家事援助を提供することができる資格

※3) 「介護支援専門員」は平成28年度調査において項目なし

保有資格は、「介護福祉士」が36.3%と最も多く、次いで「実務者研修、初任者研修」が20.0%、「看護師」が10.6%となっている。

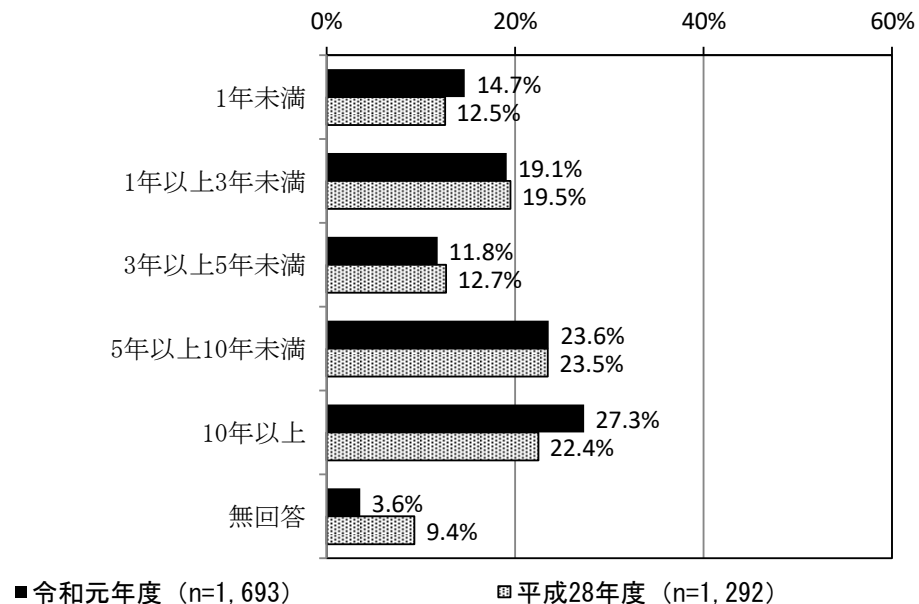
問6 経験年数(数字を記入) ※介護・福祉関係の仕事に現業として従事したトータルの年数

◇経験年数



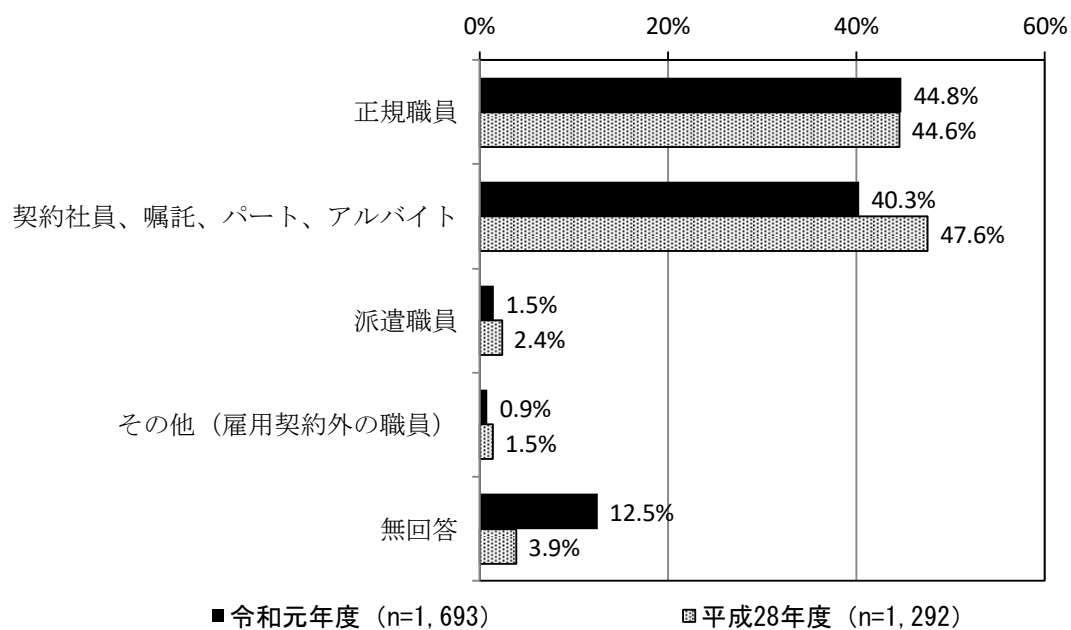
介護・福祉関係の仕事に現業として従事した年数は、「10年以上」が47.7%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」が24.5%となっている。

◇武蔵野市における経験年数



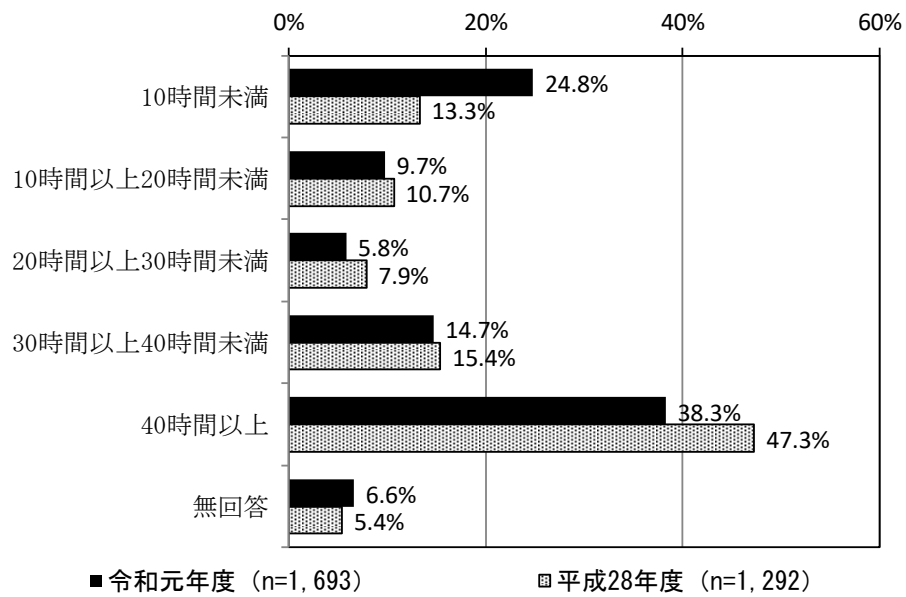
武蔵野市における介護・福祉関係の仕事に従事した年数は、「10年以上」が27.3%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」が23.6%となっている。

問7 雇用形態（1つに○）



雇用形態は、「正規職員」が44.8%と最も多く、次いで「契約社員、嘱託、パート、アルバイト」が40.3%となっている。

問8 勤務時間（1週間分、数字を記入）※兼務先の勤務時間含む

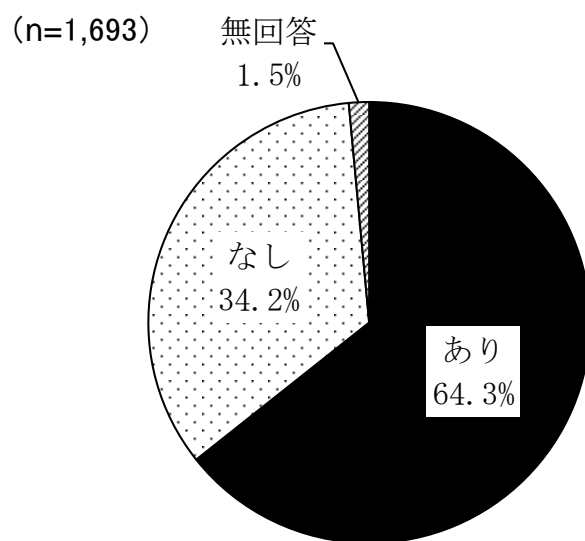


(雇用形態×勤務時間)

	合計	Q8 勤務時間					
		10時間未満	10時間以上20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上40時間未満	40時間以上	無回答
全体	1693 100.0%	420 24.8%	165 9.7%	99 5.8%	249 14.7%	648 38.3%	112 6.6%
Q7 雇用形態							
正規職員	758 100.0%	137 18.1%	6 0.8%	6 0.8%	93 12.3%	477 62.9%	39 5.1%
契約社員、嘱託、パート、アルバイト	682 100.0%	212 31.1%	139 20.4%	84 12.3%	121 17.7%	89 13.0%	37 5.4%
派遣職員	26 100.0%	8 30.8%	0 0.0%	2 7.7%	9 34.6%	5 19.2%	2 7.7%
その他	15 100.0%	4 26.7%	4 26.7%	0 0.0%	2 13.3%	2 13.3%	3 20.0%

勤務時間は、「40時間以上」が38.3%と最も多く、次いで「10時間未満」が24.8%となっている。

問9 転職経験（1つに○）

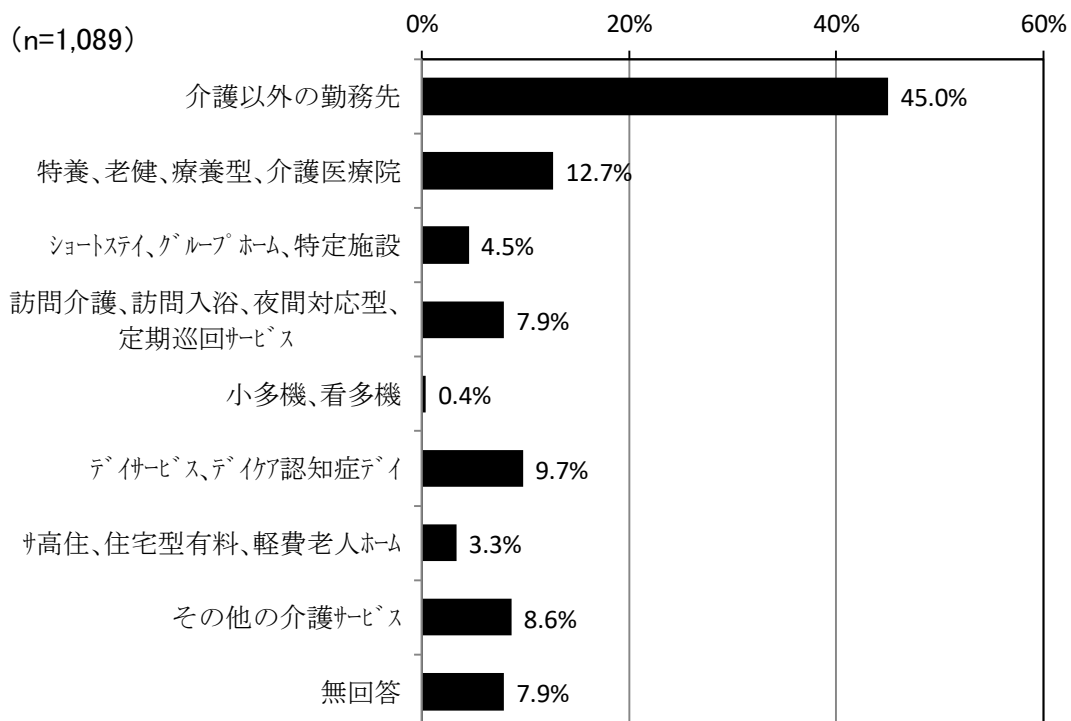


転職経験は、「あり」が64.3%、「なし」が34.2%となっている。

		合計	Q9 転職経験		
			あり	なし	無回答
全体		1693 100.0%	1089 64.3%	579 34.2%	25 1.5%
Q7 雇用形態	正規職員	758 100.0%	512 67.5%	241 31.8%	5 0.7%
	契約社員、嘱託、 パート、アルバイト	682 100.0%	414 60.7%	260 38.1%	8 1.2%
	派遣職員	26 100.0%	22 84.6%	4 15.4%	0 0.0%
	その他	15 100.0%	8 53.3%	6 40.0%	1 6.7%

		合計	Q9 転職経験		
			あり	なし	無回答
全体		1693 100.0%	1089 64.3%	579 34.2%	25 1.5%
Q2 年齢	30歳未満	203 100.0%	65 32.0%	138 68.0%	0 0.0%
	30歳以上40歳未満	319 100.0%	235 73.7%	83 26.0%	1 0.3%
	40歳以上50歳未満	371 100.0%	284 76.5%	83 22.4%	4 1.1%
	50歳以上60歳未満	385 100.0%	282 73.2%	102 26.5%	1 0.3%
	60歳以上70歳未満	248 100.0%	143 57.7%	103 41.5%	2 0.8%
	70歳以上80歳未満	109 100.0%	47 43.1%	53 48.6%	9 8.3%
	80歳以上	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%

問9-1 現在の1つ前の勤務先（1つに○）



現在の1つ前の勤務先は、「介護以外の勤務先」が45.0%と最も多く、次いで「特養、老健、療養型、介護医療院」が12.7%となっている。

(サービス系統 (介護保険法に定められたサービス、その他のサービス) ×
現在の1つ前の勤務先 (市内))

		Q9(1) 現在の1つ前の勤務先 (市内)								
		合計	介護以外の勤務先	特養、老健、療養型、介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設	訪問介護、訪問入浴、夜間対応型、定期巡回サービス	小多機、看多機	デイサービス、ケア認知症デイ	高齢住、住宅型有料、軽費老人ホーム	その他の介護サービス	無回答
全体		168	56	24	17	1	24	9	21	16
		100.0%	33.3%	14.3%	10.1%	0.6%	14.3%	5.4%	12.5%	9.5%
Q3所属_サービス系統 (介護保険法に定められたサービス、その他のサービス)	訪問系	55	17	9	9	0	4	2	8	6
		100.0%	30.9%	16.4%	16.4%	0.0%	7.3%	3.6%	14.5%	10.9%
	通所系	36	13	4	0	0	10	2	3	4
		100.0%	36.1%	11.1%	0.0%	0.0%	27.8%	5.6%	8.3%	11.1%
	看多機	2	0	0	0	0	1	1	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
施設・居住系	37	13	9	3	0	7	4	0	1	
	100.0%	35.1%	24.3%	8.1%	0.0%	18.9%	10.8%	0.0%	2.7%	
住宅系	6	2	2	0	0	1	1	0	0	
	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	

※Q3所属は複数回答設問であり、一部複数のサービス系統を兼務している者がいることに留意が必要。

※「訪問系」は「訪問看護のみ」「訪問リハビリテーションのみ」の回答者を除外している。

(サービス系統 (介護保険法に定められたサービス、その他のサービス) ×
現在の1つ前の勤務先 (市外))

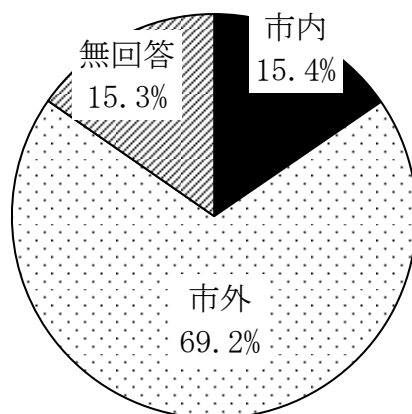
		Q9(1) 現在の1つ前の勤務先 (市外)								
		合計	介護以外の勤務先	特養、老健、療養型、介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設	訪問介護、訪問入浴、夜間対応型、定期巡回サービス	小多機、看多機	デイサービス、ケア認知症デイ	高齢住、住宅型有料、軽費老人ホーム	その他の介護サービス	無回答
全体		754	385	89	48	3	56	25	62	54
		100.0%	51.1%	11.8%	6.4%	0.4%	7.4%	3.3%	8.2%	7.2%
Q3所属_サービス系統 (介護保険法に定められたサービス、その他のサービス)	訪問系	131	56	12	33	0	5	4	7	7
		100.0%	42.7%	9.2%	25.2%	0.0%	3.8%	3.1%	5.3%	5.3%
	通所系	134	64	13	4	1	27	5	8	7
		100.0%	47.8%	9.7%	3.0%	0.7%	20.1%	3.7%	6.0%	5.2%
	看多機	8	4	1	1	0	0	0	1	1
		100.0%	50.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%
施設・居住系	216	101	54	7	0	12	9	8	12	
	100.0%	46.8%	25.0%	3.2%	0.0%	5.6%	4.2%	3.7%	5.6%	
住宅系	21	10	1	1	0	0	2	1	4	
	100.0%	47.6%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	9.5%	4.8%	19.0%	

※Q3所属は複数回答設問であり、一部複数のサービス系統を兼務している者がいることに留意が必要。

※「訪問系」は「訪問看護のみ」「訪問リハビリテーションのみ」の回答者を除外している。

問9-2 現在の1つ前の勤務先の所在地（1つに○）

(n=1,089)



現在の1つ前の勤務先の所在地は、「市内」が15.4%、「市外」が69.2%となっている。

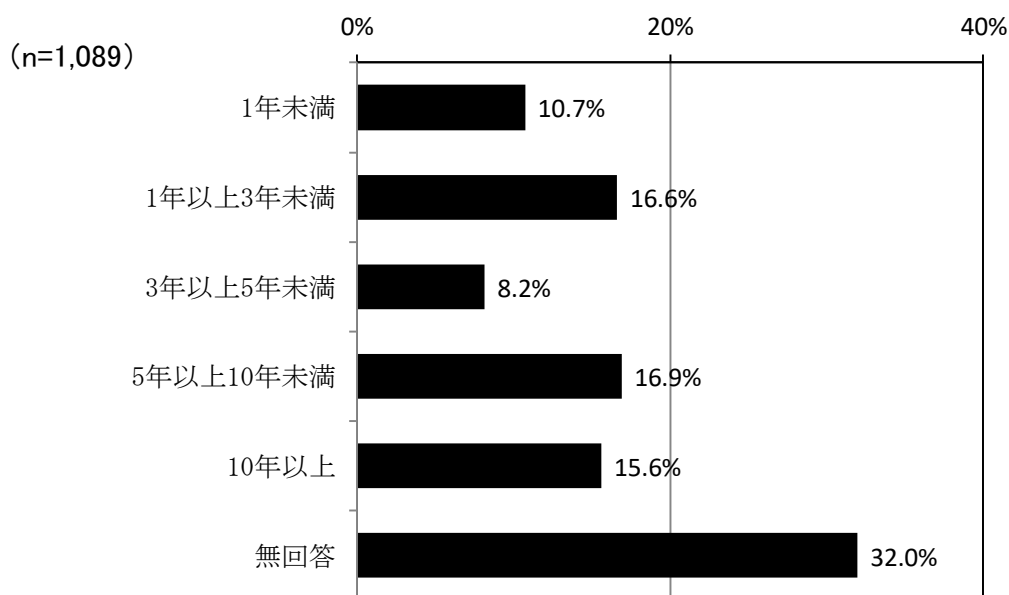
(雇用形態×現在の1つ前の勤務先の所在地)

		合計	Q9(2) 現在の1つ前の勤務先の所在地			
			武蔵野市内	武蔵野市外	無回答	非該当
全体		1089 100.0%	168 15.4%	754 69.2%	167 15.3%	604
Q7 雇用形態	正規職員	512 100.0%	56 10.9%	373 72.9%	83 16.2%	246
	契約社員、嘱託、 パート、アルバイト	414 100.0%	86 20.8%	273 65.9%	55 13.3%	268
	派遣職員	22 100.0%	1 4.5%	16 72.7%	5 22.7%	4
	その他	8 100.0%	3 37.5%	5 62.5%	0 0.0%	7

(年齢×現在の1つ前の勤務先の所在地)

		合計	Q9(2) 現在の1つ前の勤務先の所在地			
			武蔵野市内	武蔵野市外	無回答	非該当
全体		1089 100.0%	168 15.4%	754 69.2%	167 15.3%	604
Q2 年齢	30歳未満	65 100.0%	1 1.5%	53 81.5%	11 16.9%	138
	30歳以上40歳未満	235 100.0%	20 8.5%	176 74.9%	39 16.6%	84
	40歳以上50歳未満	284 100.0%	38 13.4%	210 73.9%	36 12.7%	87
	50歳以上60歳未満	282 100.0%	52 18.4%	185 65.6%	45 16.0%	103
	60歳以上70歳未満	143 100.0%	30 21.0%	91 63.6%	22 15.4%	105
	70歳以上80歳未満	47 100.0%	19 40.4%	22 46.8%	6 12.8%	62
	80歳以上	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	3

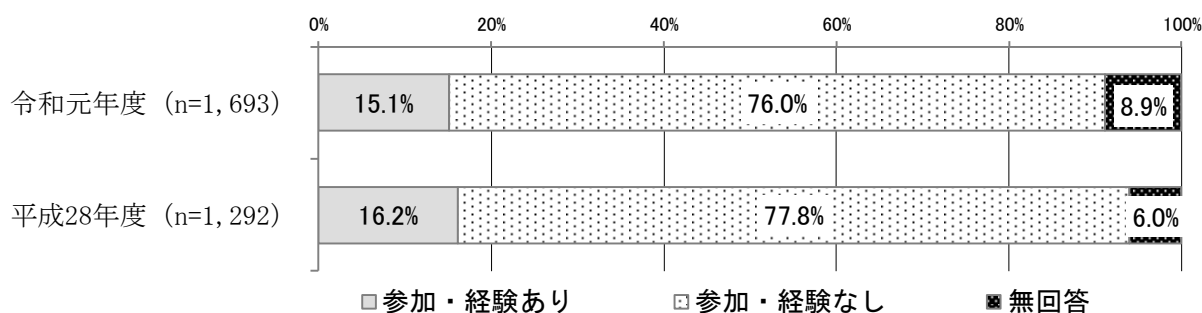
問9-3 転職したのは何年前ですか (数字を記入)



転職した時期は、「5年以上10年未満」が16.9%と最も多く、次いで「1年以上3年未満」が16.6%、「10年以上」が15.6%となっている。

4. ケアリンピック武蔵野への参加・来場経験

問 10 ケアリンピック武蔵野への参加・来場経験（1つに○）



ケアリンピック武蔵野への参加・来場経験は、「参加・来場経験なし」が76.0%、「参加・来場経験あり」が15.1%となっている。

(年齢×ケアリンピック武蔵野への参加・来場経験)

		合計	Q10 ケアリンピック武蔵野への参加・来場経験		
			参加・来場経験あり	参加・来場経験なし	無回答
全体		1693 100.0%	256 15.1%	1287 76.0%	150 8.9%
Q2 年齢	30歳未満	203 100.0%	13 6.4%	185 91.1%	5 2.5%
	30歳以上40歳未満	319 100.0%	48 15.0%	256 80.3%	15 4.7%
	40歳以上50歳未満	371 100.0%	63 17.0%	280 75.5%	28 7.5%
	50歳以上60歳未満	385 100.0%	65 16.9%	294 76.4%	26 6.8%
	60歳以上70歳未満	248 100.0%	49 19.8%	162 65.3%	37 14.9%
	70歳以上80歳未満	109 100.0%	11 10.1%	70 64.2%	28 25.7%
	80歳以上	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%

(雇用形態×参加・来場経験)

		合計	Q10 ケアリンク武蔵野への参加・来場経験		
			参加・来場経験あり	参加・来場経験なし	無回答
全体		1693 100.0%	256 15.1%	1287 76.0%	150 8.9%
Q7 雇用形態	正規職員	758 100.0%	156 20.6%	564 74.4%	38 5.0%
	契約社員、嘱託、パート、アルバイト	682 100.0%	62 9.1%	558 81.8%	62 9.1%
	派遣職員	26 100.0%	1 3.8%	23 88.5%	2 7.7%
	その他	15 100.0%	2 13.3%	8 53.3%	5 33.3%

(介護保険法に定められたサービス、その他のサービスにおける主な職種×参加・来場経験)

		合計	Q10 ケアリンク武蔵野への参加・来場経験		
			参加・来場経験あり	参加・来場経験なし	無回答
全体		1693 100.0%	256 15.1%	1287 76.0%	150 8.9%
Q4(1)小計		1207 100.0%	227 18.8%	872 72.2%	108 8.9%
Q4(1) 主な職種:介護保険法に定められたサービス、その他のサービス	介護職員	822 100.0%	129 15.7%	612 74.5%	81 9.9%
	看護職員	186 100.0%	37 19.9%	129 69.4%	20 10.8%
	サービス提供責任者	62 100.0%	23 37.1%	38 61.3%	1 1.6%
	計画作成責任者	9 100.0%	2 22.2%	6 66.7%	1 11.1%
	リハビリテーション職員	91 100.0%	20 22.0%	68 74.7%	3 3.3%
	施設長、管理者	37 100.0%	16 43.2%	19 51.4%	2 5.4%

(障害者(児)を対象としたサービスにおける主な職種別×参加・来場経験)

		合計	Q10 ケアリンク武蔵野への参加・来場経験		
			参加・来場経験あり	参加・来場経験なし	無回答
全体		1693 100.0%	256 15.1%	1287 76.0%	150 8.9%
Q4(2)小計		464 100.0%	32 6.9%	413 89.0%	19 4.1%
Q4(2) 主な職種:障害者(児)を対象としたサービス	介護職員	118 100.0%	9 7.6%	97 82.2%	12 10.2%
	看護職員	11 100.0%	1 9.1%	10 90.9%	0 0.0%
	生活支援員	123 100.0%	8 6.5%	113 91.9%	2 1.6%
	就労支援員、職業指導員	54 100.0%	1 1.9%	51 94.4%	2 3.7%
	リハビリテーション職員	10 100.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%
	サービス提供責任者	23 100.0%	8 34.8%	14 60.9%	1 4.3%
	サービス管理責任者	27 100.0%	1 3.7%	25 92.6%	1 3.7%
	指導員	72 100.0%	1 1.4%	70 97.2%	1 1.4%
	児童発達管理責任者	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
	管理者	24 100.0%	3 12.5%	21 87.5%	0 0.0%

(経験年数×参加・来場経験)

		合計	Q10 ケアリンク武蔵野への参加・来場経験		
			参加・来場経験あり	参加・来場経験なし	無回答
全体		1693 100.0%	256 15.1%	1287 76.0%	150 8.9%
Q6(1) 経験年数:年	1年未満	97 100.0%	0 0.0%	93 95.9%	4 4.1%
	1年以上3年未満	190 100.0%	14 7.4%	164 86.3%	12 6.3%
	3年以上5年未満	147 100.0%	14 9.5%	123 83.7%	10 6.8%
	5年以上10年未満	415 100.0%	53 12.8%	330 79.5%	32 7.7%
	10年以上	807 100.0%	171 21.2%	552 68.4%	84 10.4%

(武蔵野市での経験年数×参加・来場経験)

		合計	Q10 ケアリンク武蔵野への参加・来場経験		
			参加・来場経験あり	参加・来場経験なし	無回答
全体		1693 100.0%	256 15.1%	1287 76.0%	150 8.9%
Q6(2) うち、武蔵野市内での経験年数：年	1年未満	249 100.0%	1 0.4%	233 93.6%	15 6.0%
	1年以上3年未満	323 100.0%	31 9.6%	274 84.8%	18 5.6%
	3年以上5年未満	199 100.0%	25 12.6%	156 78.4%	18 9.0%
	5年以上10年未満	399 100.0%	75 18.8%	292 73.2%	32 8.0%
	10年以上	462 100.0%	119 25.8%	288 62.3%	55 11.9%

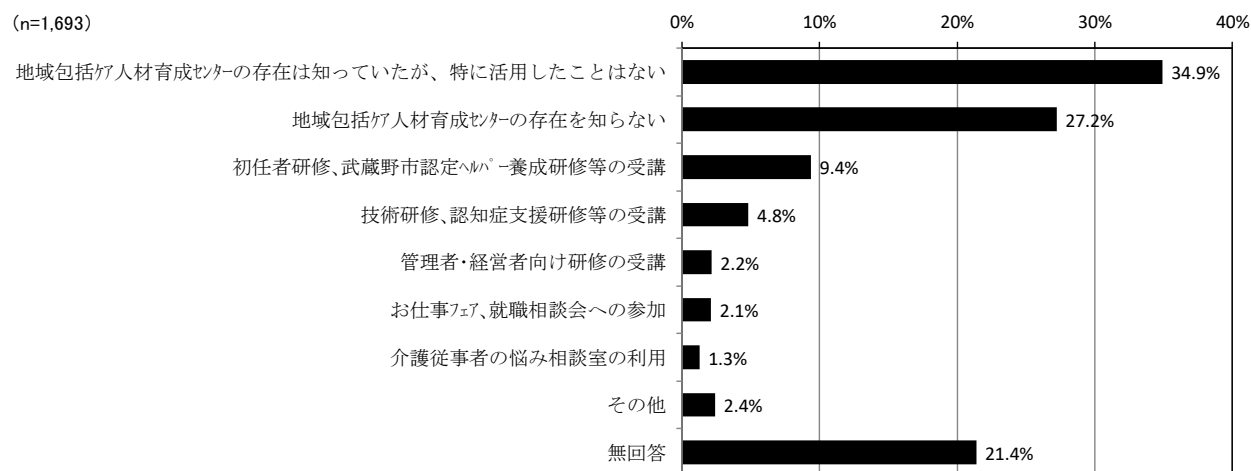
(サービス系統 (介護保険法に定められたサービス、その他のサービス) ×参加・来場経験)

		合計	Q10 ケアリンク武蔵野への参加・来場経験		
			参加・来場経験あり	参加・来場経験なし	無回答
	全体	1693 100.0%	256 15.1%	1287 76.0%	150 8.9%
Q3所属_サービス系統 (介護保険法に定められたサービス、その他のサービス)	訪問系	550 100.0%	119 21.6%	377 68.5%	54 9.8%
	通所系	273 100.0%	44 16.1%	199 72.9%	30 11.0%
	看多機	18 100.0%	2 11.1%	14 77.8%	2 11.1%
	施設・居住系	447 100.0%	82 18.3%	328 73.4%	37 8.3%
	住宅系	43 100.0%	3 7.0%	36 83.7%	4 9.3%

※Q3所属は複数回答設問であり、一部複数のサービス系統を兼務している者がいることに留意が必要。

5. 地域包括ケア人材育成センターについて

問 11 地域包括ケア人材育成センターの活用状況（複数選択可）



地域包括ケア人材育成センターの活用状況は、「地域包括ケア人材育成センターの存在は知っていたが、特に活用したことはない」が34.9%と最も多く、次いで「地域包括ケア人材育成センターの存在を知らない」が27.2、「初任者研修、武蔵野市認定ヘルパー養成研修、認定ヘルパーフォローアップ研修の受講」が9.4%となっている。

(介護保険法に定められたサービス、その他のサービスにおける主な職種×活用状況)

	合計	Q11 地域包括ケア人材育成センターの活用状況									
		特に活用 したことは ない	地域包括 ケア人材育 成センターの 存在を知ら ない	初任者研 修、武蔵 野市認定 ヘルパー養 成研修等 の受講	技術研 修、認知 症支援研 修等の受 講	管理者・ 経営者向 け研修の 受講	お仕事フェ ア、就職相 談会への 参加	介護従事 者の悩み 相談室の 利用	その他	無回答	
全体	1693 100.0%	591 34.9%	461 27.2%	159 9.4%	82 4.8%	37 2.2%	36 2.1%	22 1.3%	41 2.4%	362 21.4%	
Q4(1)小計	1207 100.0%	426 35.3%	292 24.2%	127 10.5%	73 6.0%	27 2.2%	28 2.3%	16 1.3%	31 2.6%	267 22.1%	
Q4(1) 主な職 種:介護保 険法に定め られたサー ビス、そ 他のサー ビス	介護職員	822 100.0%	272 33.1%	189 23.0%	105 12.8%	53 6.4%	8 1.0%	15 1.8%	10 1.2%	16 1.9%	202 24.6%
	看護職員	186 100.0%	69 37.1%	62 33.3%	4 2.2%	3 1.6%	6 3.2%	2 1.1%	2 1.1%	9 4.8%	38 20.4%
	サービス提供責任者	62 100.0%	21 33.9%	6 9.7%	12 19.4%	8 12.9%	5 8.1%	7 11.3%	2 3.2%	5 8.1%	10 16.1%
	計画作成責任者	9 100.0%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%
	リハビリテーション職員	91 100.0%	42 46.2%	32 35.2%	3 3.3%	3 3.3%	2 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 9.9%
	施設長、管理者	37 100.0%	18 48.6%	2 5.4%	3 8.1%	5 13.5%	6 16.2%	4 10.8%	2 5.4%	0 0.0%	6 16.2%

(障害者（児）を対象としたサービスにおける主な職種×活用状況)

	合計	Q11 地域包括ケア人材育成センターの活用状況									
		特に活用 したことは ない	地域包括 ケア人材育 成センターの 存在を知ら ない	初任者研 修、武蔵 野市認定 ヘルパー養 成研修等 の受講	技術研 修、認知 症支援研 修等の受 講	管理者・ 経営者向 け研修の 受講	お仕事フェ ア、就職相 談会への 参加	介護従事 者の悩み 相談室の 利用	その他	無回答	
全体	1693 100.0%	591 34.9%	461 27.2%	159 9.4%	82 4.8%	37 2.2%	36 2.1%	22 1.3%	41 2.4%	362 21.4%	
Q4(2)小計	464 100.0%	176 37.9%	156 33.6%	43 9.3%	12 2.6%	7 1.5%	4 0.9%	3 0.6%	9 1.9%	72 15.5%	
Q4(2) 主な職 種:障害者 (児)を対 象とした サービス	介護職員	118 100.0%	40 33.9%	31 26.3%	18 15.3%	7 5.9%	0 0.0%	1 0.8%	2 1.7%	1 0.8%	22 18.6%
	看護職員	11 100.0%	5 45.5%	5 45.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%
	生活支援員	123 100.0%	40 32.5%	47 38.2%	18 14.6%	2 1.6%	1 0.8%	1 0.8%	0 0.0%	2 1.6%	19 15.4%
	就労支援員、職業 指導員	54 100.0%	21 38.9%	22 40.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.7%	9 16.7%
	リハビリテーション職員	10 100.0%	4 40.0%	4 40.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%
	サービス提供責任者	23 100.0%	11 47.8%	0 0.0%	3 13.0%	1 4.3%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%	6 26.1%
	サービス管理責任者	27 100.0%	15 55.6%	6 22.2%	2 7.4%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 14.8%
	指導員	72 100.0%	24 33.3%	36 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.8%	1 1.4%	0 0.0%	1 1.4%	8 11.1%
	児童発達管理責任 者	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	管理者	24 100.0%	16 66.7%	3 12.5%	1 4.2%	0 0.0%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	1 4.2%

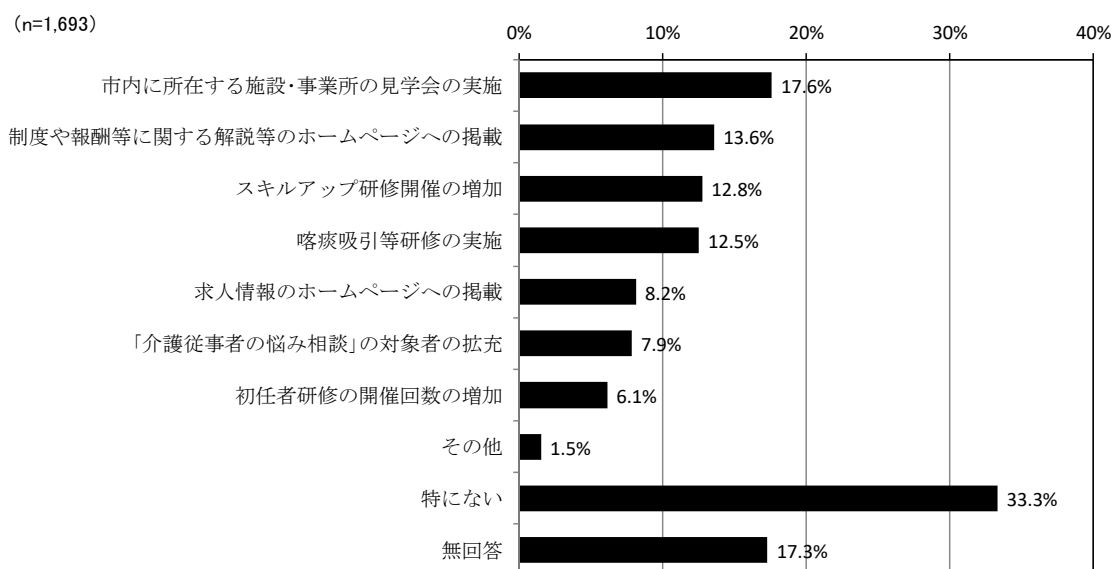
(経験年数×活用状況)

	合計	Q11 地域包括ケア人材育成センターの活用状況									
		特に活用 したことは ない	地域包括 ケア人材育 成センターの 存在を知ら ない	初任者研 修、武蔵 野市認定 ヘルパー養 成研修等 の受講	技術研 修、認知 症支援研 修等の受 講	管理者・ 経営者向 け研修の 受講	お仕事フェ ア、就職相 談会への 参加	介護従事 者の悩み 相談室の 利用	その他	無回答	
全体	1693 100.0%	591 34.9%	461 27.2%	159 9.4%	82 4.8%	37 2.2%	36 2.1%	22 1.3%	41 2.4%	362 21.4%	
Q6(1) 経験年 数:年	1年未満	97 100.0%	27 27.8%	49 50.5%	3 3.1%	2 2.1%	2 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.1%	12 12.4%
	1年以上3年未満	190 100.0%	67 35.3%	71 37.4%	15 7.9%	4 2.1%	2 1.1%	9 4.7%	5 2.6%	1 0.5%	27 14.2%
	3年以上5年未満	147 100.0%	57 38.8%	48 32.7%	8 5.4%	5 3.4%	2 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.4%	28 19.0%
	5年以上10年未満	415 100.0%	138 33.3%	130 31.3%	36 8.7%	17 4.1%	4 1.0%	6 1.4%	2 0.5%	13 3.1%	84 20.2%
	10年以上	807 100.0%	293 36.3%	160 19.8%	95 11.8%	54 6.7%	26 3.2%	21 2.6%	15 1.9%	19 2.4%	193 23.9%

(武蔵野市での経験年数×活用状況)

	合計	Q11 地域包括ケア人材育成センターの活用状況									
		特に活用 したことは ない	地域包括 ケア人材育 成センターの 存在を知ら ない	初任者研 修、武蔵 野市認定 ヘルパー養 成研修等 の受講	技術研 修、認知 症支援研 修等の受 講	管理者・ 経営者向 け研修の 受講	お仕事フェ ア、就職相 談会への 参加	介護従事 者の悩み 相談室の 利用	その他	無回答	
全体	1693 100.0%	591 34.9%	461 27.2%	159 9.4%	82 4.8%	37 2.2%	36 2.1%	22 1.3%	41 2.4%	362 21.4%	
Q6(2) うち、 武蔵野市内で の経験年数: 年	1年未満	249 100.0%	77 30.9%	114 45.8%	8 3.2%	6 2.4%	4 1.6%	3 1.2%	1 0.4%	5 2.0%	37 14.9%
	1年以上3年未満	323 100.0%	114 35.3%	112 34.7%	18 5.6%	7 2.2%	9 2.8%	11 3.4%	4 1.2%	8 2.5%	52 16.1%
	3年以上5年未満	199 100.0%	85 42.7%	53 26.6%	11 5.5%	7 3.5%	3 1.5%	1 0.5%	1 0.5%	3 1.5%	39 19.6%
	5年以上10年未満	399 100.0%	136 34.1%	101 25.3%	41 10.3%	24 6.0%	7 1.8%	6 1.5%	3 0.8%	14 3.5%	87 21.8%
	10年以上	462 100.0%	161 34.8%	71 15.4%	74 16.0%	34 7.4%	13 2.8%	15 3.2%	9 1.9%	10 2.2%	121 26.2%

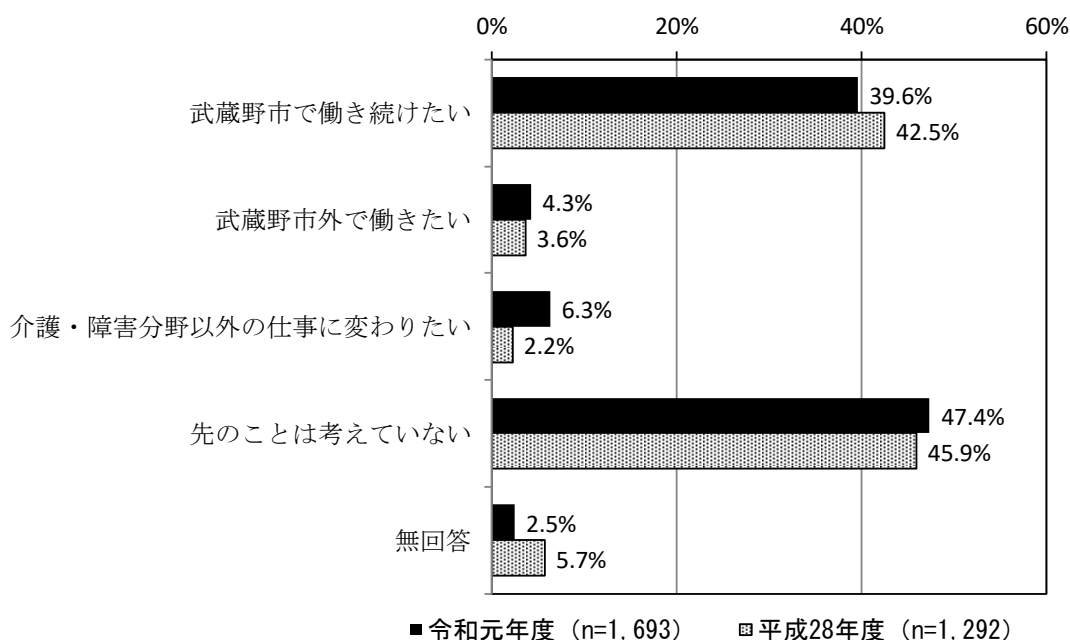
問 12 地域包括ケア人材育成センターに求めること（複数選択可）



地域包括ケア人材育成センターに求めることは、「特にない」以外では「市内に所在する施設・事業所の見学会の実施」が17.6%、「制度や報酬等に関する解説等のホームページへの掲載」が13.6%となっている。

6. 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向

問13 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向（1つに○）



約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向は、「先のことは考えていない」が47.4%、「武蔵野市で働き続けたい」が39.6%となっている。

(年齢×約5年後の継続意向)

		合計	Q13 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向				
			武蔵野市で働き続けたい	武蔵野市外で働きたい	介護・障害分野以外の仕事に変わりたい	先のことは考えていない	無回答
全体		1693 100.0%	670 39.6%	72 4.3%	107 6.3%	802 47.4%	42 2.5%
Q2 年齢	30歳未満	203 100.0%	38 18.7%	16 7.9%	32 15.8%	115 56.7%	2 1.0%
	30歳以上40歳未満	319 100.0%	115 36.1%	24 7.5%	23 7.2%	157 49.2%	0 0.0%
	40歳以上50歳未満	371 100.0%	174 46.9%	11 3.0%	17 4.6%	163 43.9%	6 1.6%
	50歳以上60歳未満	385 100.0%	160 41.6%	13 3.4%	26 6.8%	180 46.8%	6 1.6%
	60歳以上70歳未満	248 100.0%	109 44.0%	5 2.0%	5 2.0%	121 48.8%	8 3.2%
	70歳以上80歳未満	109 100.0%	46 42.2%	1 0.9%	1 0.9%	46 42.2%	15 13.8%
	80歳以上	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%

(雇用形態×約5年後の継続意向)

		合計	Q13 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向				
			武蔵野市で働き続けたい	武蔵野市外で働きたい	介護・障害分野以外の仕事に変わりたい	先のことはいない	無回答
全体		1693 100.0%	670 39.6%	72 4.3%	107 6.3%	802 47.4%	42 2.5%
Q7 雇用形態	正規職員	758 100.0%	278 36.7%	48 6.3%	69 9.1%	360 47.5%	3 0.4%
	契約社員、嘱託、パート、アルバイト	682 100.0%	293 43.0%	13 1.9%	27 4.0%	330 48.4%	19 2.8%
	派遣職員	26 100.0%	6 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	20 76.9%	0 0.0%
	その他	15 100.0%	4 26.7%	0 0.0%	1 6.7%	7 46.7%	3 20.0%

(介護保険法に定められたサービス、その他のサービスにおける主な職種×約5年後の継続意向)

		合計	Q13 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向				
			武蔵野市で働き続けたい	武蔵野市外で働きたい	介護・障害分野以外の仕事に変わりたい	先のことはいない	無回答
全体		1693 100.0%	670 39.6%	72 4.3%	107 6.3%	802 47.4%	42 2.5%
Q4(1)小計		1207 100.0%	473 39.2%	56 4.6%	78 6.5%	579 48.0%	21 1.7%
Q4(1) 主な職種：介護保険法に定められたサービス、その他のサービス	介護職員	822 100.0%	320 38.9%	42 5.1%	60 7.3%	383 46.6%	17 2.1%
	看護職員	186 100.0%	69 37.1%	4 2.2%	4 2.2%	106 57.0%	3 1.6%
	サービス提供責任者	62 100.0%	29 46.8%	0 0.0%	8 12.9%	25 40.3%	0 0.0%
	計画作成責任者	9 100.0%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 55.6%	0 0.0%
	リハビリテーション職員	91 100.0%	35 38.5%	9 9.9%	4 4.4%	43 47.3%	0 0.0%
	施設長、管理者	37 100.0%	16 43.2%	1 2.7%	2 5.4%	17 45.9%	1 2.7%

(障害者(児)を対象としたサービスにおける主な職種×約5年後の継続意向)

	合計	Q13 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向					
		武蔵野市で働き続けたい	武蔵野市外で働きたい	介護・障害分野以外の仕事に変わりたい	先のことはいない	無回答	
全体	1693 100.0%	670 39.6%	72 4.3%	107 6.3%	802 47.4%	42 2.5%	
Q4(2)小計	464 100.0%	204 44.0%	18 3.9%	32 6.9%	206 44.4%	4 0.9%	
Q4(2) 主な職種:障害者(児)を対象としたサービス	介護職員	118 100.0%	58 49.2%	4 3.4%	4 3.4%	50 42.4%	2 1.7%
	看護職員	11 100.0%	3 27.3%	0 0.0%	1 9.1%	7 63.6%	0 0.0%
	生活支援員	123 100.0%	61 49.6%	6 4.9%	10 8.1%	44 35.8%	2 1.6%
	就労支援員、職業指導員	54 100.0%	22 40.7%	2 3.7%	8 14.8%	22 40.7%	0 0.0%
	リハビリテーション職員	10 100.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	5 50.0%	0 0.0%
	サービス提供責任者	23 100.0%	12 52.2%	0 0.0%	2 8.7%	9 39.1%	0 0.0%
	サービス管理責任者	27 100.0%	14 51.9%	1 3.7%	3 11.1%	9 33.3%	0 0.0%
	指導員	72 100.0%	17 23.6%	2 2.8%	2 2.8%	51 70.8%	0 0.0%
	児童発達管理責任者	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
	管理者	24 100.0%	14 58.3%	0 0.0%	2 8.3%	8 33.3%	0 0.0%

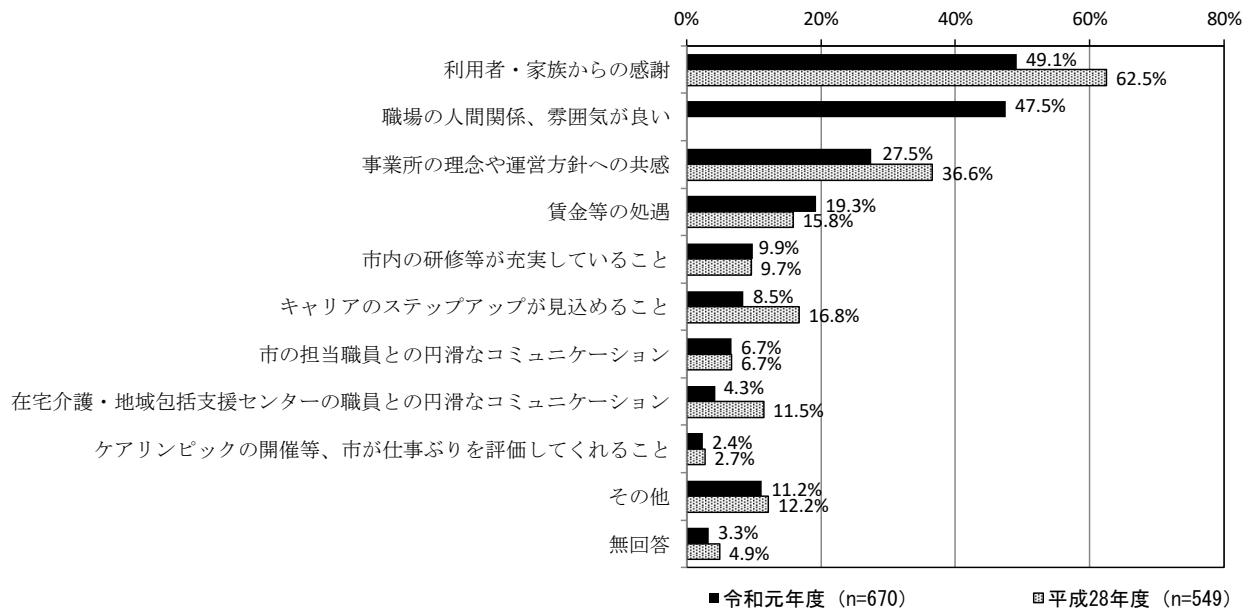
(経験年数×約5年後の継続意向)

	合計	Q13 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向					
		武蔵野市で働き続けたい	武蔵野市外で働きたい	介護・障害分野以外の仕事に変わりたい	先のことはいない	無回答	
全体	1693 100.0%	670 39.6%	72 4.3%	107 6.3%	802 47.4%	42 2.5%	
Q6(1) 経験年数:年	1年未満	97 100.0%	35 36.1%	5 5.2%	6 6.2%	50 51.5%	1 1.0%
	1年以上3年未満	190 100.0%	59 31.1%	11 5.8%	12 6.3%	104 54.7%	4 2.1%
	3年以上5年未満	147 100.0%	51 34.7%	7 4.8%	12 8.2%	77 52.4%	0 0.0%
	5年以上10年未満	415 100.0%	148 35.7%	22 5.3%	38 9.2%	200 48.2%	7 1.7%
	10年以上	807 100.0%	368 45.6%	27 3.3%	38 4.7%	351 43.5%	23 2.9%

(武蔵野市での経験年数×約5年後の継続意向)

		合計	Q13 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向				
			武蔵野市で働き続けたい	武蔵野市外で働きたい	介護・障害分野以外の仕事に変わりたい	先のことはいない	無回答
全体		1693 100.0%	670 39.6%	72 4.3%	107 6.3%	802 47.4%	42 2.5%
Q6(2) うち、武蔵野市内での経験年数：年	1年未満	249 100.0%	86 34.5%	13 5.2%	13 5.2%	135 54.2%	2 0.8%
	1年以上3年未満	323 100.0%	110 34.1%	16 5.0%	21 6.5%	171 52.9%	5 1.5%
	3年以上5年未満	199 100.0%	72 36.2%	16 8.0%	17 8.5%	92 46.2%	2 1.0%
	5年以上10年未満	399 100.0%	153 38.3%	18 4.5%	33 8.3%	186 46.6%	9 2.3%
	10年以上	462 100.0%	227 49.1%	7 1.5%	21 4.5%	190 41.1%	17 3.7%

問 13-1 問 13 で「武蔵野市で働き続けたい」を選択した方に伺います。武蔵野市で働き続ける上で、特にモチベーションの向上につながっていることは何ですか。(最大3つまで○)

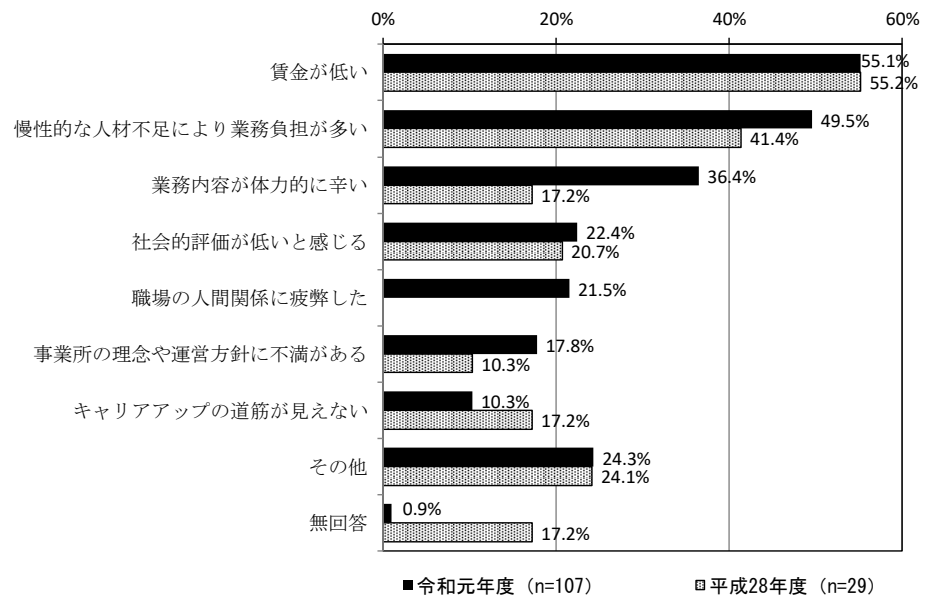


※令和元年度は「職場の人間関係、雰囲気が良い」という選択肢を追加

武蔵野市で働き続ける上で、特にモチベーションの向上につながっていることは、「利用者・家族からの感謝」が49.1%と最も高く、次いで「職場の人間関係、雰囲気が良い」が47.5%、「事業所の理念や運営方針への共感」が27.5%となっている。

「その他」にあげられた武蔵野市で働き続けたい理由としては、「自宅から近い」「通勤しやすい」などが挙げられていた。

問 13-2 問 13 で「介護・障害分野以外の仕事に変わりたい」を選択した方に伺います。理由は何ですか。(最大3つまで○)



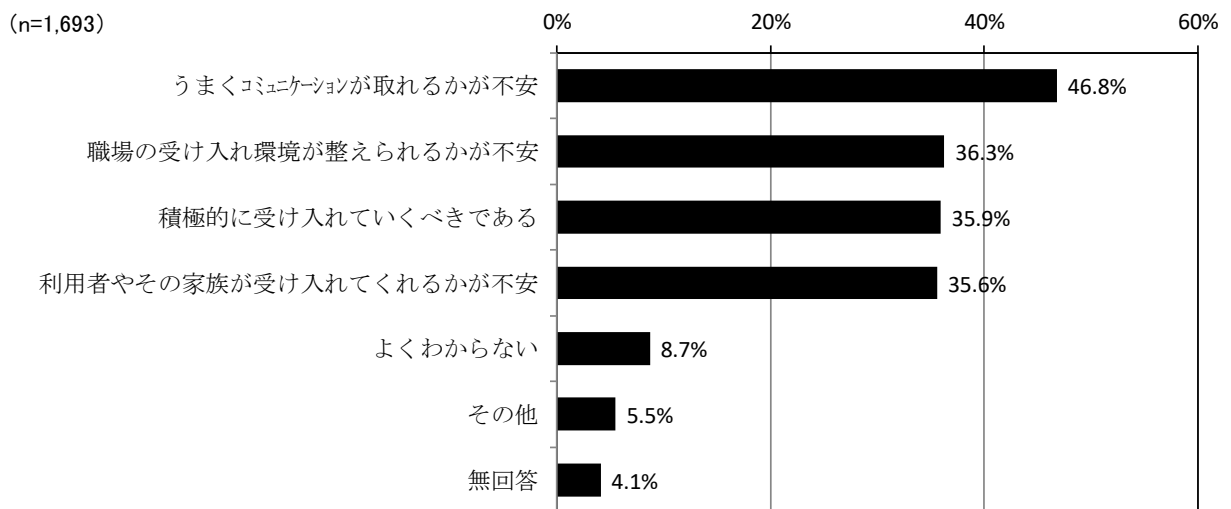
※令和元年度は「職場の人間関係に疲弊した」という選択肢を追加

介護・障害分野以外の仕事に変わりたい理由として、「賃金が低い」が55.1%と最も高く、次いで「慢性的な人材不足により業務負担が多い」が49.5%、「業務内容が体力的に辛い」が36.4%となっている。

「その他」にあげられた介護・障害分野以外の仕事に変わりたい理由は、「他にやりたいことがある」「雇用形態を変えたい」などが挙げられていた。

7. 外国人労働者の受け入れに対する考え

問 14 外国人労働者の受け入れに対して、どのように考えていますか。(最大3つまで○)

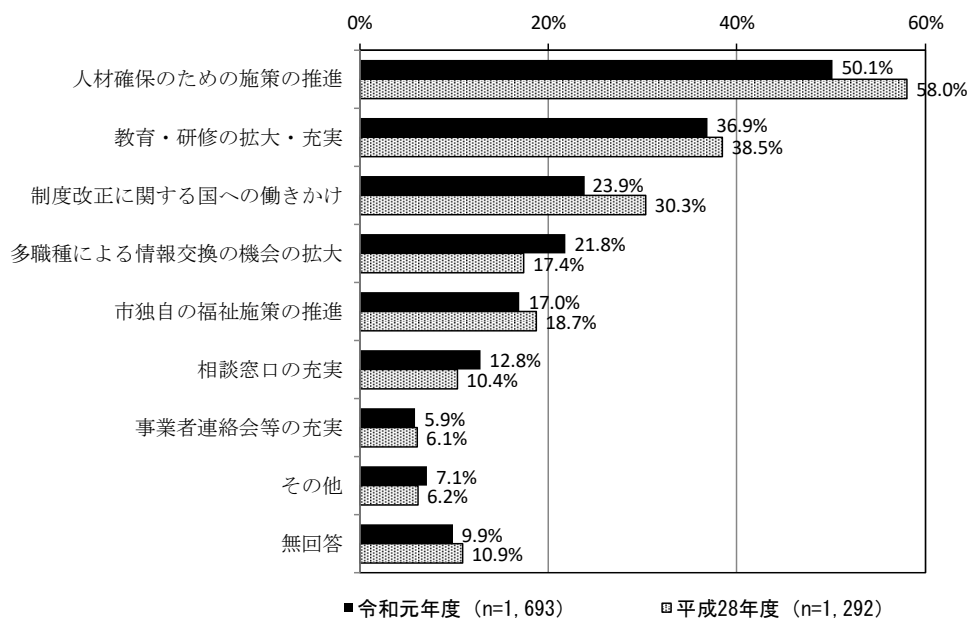


外国人労働者の受け入れに対しては、「言語の違いにより、うまくコミュニケーションが取れるかが不安」が46.8%と最も高く、次いで「職場の受け入れ環境（文化、宗教等）が整えられるかが不安」が36.3%、「人材が不足している中では、積極的に受け入れていくべきである」が35.9%となっている。

「その他」にあげられた外国人労働者の受け入れに対する考えとしては、「外国人を受け入れる前に日本人の処遇を改善するべき」「言語や文化の違いによる負担が大きい」などが挙げられていた。

8. 武蔵野市で働き続けるために市に求めること

問 15 介護職員・看護職員が武蔵野市で働き続けるために市に求めることは何ですか。(最大3つまで○)



武蔵野市で働き続けるために求めることとして、「人材確保のための施策の推進」が50.1%と最も多く、次いで「教育・研修の拡大・充実」が36.9%、「制度改正に関する国への働きかけ」が23.9%となっている。

「その他」にあげられた武蔵野市で働き続けるために求めることとしては、「処遇の改善」などが多く挙げられていた。

(年齢×市に求めること)

	合計	Q15 介護職員・看護職員等が武蔵野市で働き続けるために市に求めること								
		人材確保のための施策の推進	教育・研修の拡大・充実	制度改正に関する国への働きかけ	多職種による情報交換の機会の拡大	市独自の福祉施策の推進	相談窓口の充実	事業者連絡会等の充実	その他	無回答
全体	1693	849	624	404	369	287	217	100	121	167
Q2 年齢	100.0%	50.1%	36.9%	23.9%	21.8%	17.0%	12.8%	5.9%	7.1%	9.9%
30歳未満	203	108	72	54	51	24	29	4	13	12
30歳以上40歳未満	319	181	116	85	77	64	35	22	27	17
40歳以上50歳未満	371	213	140	94	71	63	51	24	30	22
50歳以上60歳未満	385	181	144	91	85	68	56	21	32	32
60歳以上70歳未満	248	107	93	56	59	43	27	19	12	34
70歳以上80歳未満	109	35	35	18	15	20	13	6	1	36
80歳以上	4	0	2	0	1	0	0	0	0	2
	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

(雇用形態×市に求めること)

	合計	Q15 介護職員・看護職員等が武蔵野市で働き続けるために市に求めること								
		人材確保のための施策の推進	教育・研修の拡大・充実	制度改正に関する国への働きかけ	多職種による情報交換の機会の拡大	市独自の福祉施策の推進	相談窓口の充実	事業者連絡会等の充実	その他	無回答
全体	1693 100.0%	849 50.1%	624 36.9%	404 23.9%	369 21.8%	287 17.0%	217 12.8%	100 5.9%	121 7.1%	167 9.9%
Q7 雇用形態	正規職員	758 100.0%	428 56.5%	272 35.9%	218 28.8%	172 22.7%	137 18.1%	87 11.5%	51 6.7%	40 5.3%
	契約社員、嘱託、パート、アルバイト	682 100.0%	295 43.3%	265 38.9%	137 20.1%	143 21.0%	114 16.7%	98 14.4%	33 4.8%	81 11.9%
	派遣職員	26 100.0%	13 50.0%	11 42.3%	8 30.8%	2 7.7%	2 7.7%	3 11.5%	2 7.7%	2 7.7%
	その他	15 100.0%	5 33.3%	5 33.3%	3 20.0%	4 26.7%	4 26.7%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%

(介護保険法に定められたサービス、その他サービスにおける主な職種×市に求めること)

	合計	Q15 介護職員・看護職員等が武蔵野市で働き続けるために市に求めること									
		人材確保のための施策の推進	教育・研修の拡大・充実	制度改正に関する国への働きかけ	多職種による情報交換の機会の拡大	市独自の福祉施策の推進	相談窓口の充実	事業者連絡会等の充実	その他	無回答	
全体	1693 100.0%	849 50.1%	624 36.9%	404 23.9%	369 21.8%	287 17.0%	217 12.8%	100 5.9%	121 7.1%	167 9.9%	
Q4(1)小計	1207 100.0%	611 50.6%	445 36.9%	316 26.2%	257 21.3%	200 16.6%	155 12.8%	69 5.7%	87 7.2%	106 8.8%	
Q4(1) 主な職種：介護保険法に定められたサービス、その他のサービス	介護職員	822 100.0%	395 48.1%	300 36.5%	225 27.4%	161 19.6%	139 16.9%	107 13.0%	40 4.9%	68 8.3%	81 9.9%
	看護職員	186 100.0%	95 51.1%	77 41.4%	34 18.3%	49 26.3%	30 16.1%	18 9.7%	13 7.0%	9 4.8%	15 8.1%
	サービス提供責任者	62 100.0%	45 72.6%	20 32.3%	18 29.0%	14 22.6%	9 14.5%	10 16.1%	5 8.1%	2 3.2%	3 4.8%
	計画作成責任者	9 100.0%	7 77.8%	4 44.4%	3 33.3%	4 44.4%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
	リハビリテーション職員	91 100.0%	44 48.4%	29 31.9%	22 24.2%	22 24.2%	13 14.3%	14 15.4%	8 8.8%	6 6.6%	5 5.5%
	施設長、管理者	37 100.0%	25 67.6%	15 40.5%	14 37.8%	7 18.9%	9 24.3%	4 10.8%	2 5.4%	2 5.4%	2 5.4%

(障害者(児)を対象としたサービスにおける主な職種×市に求めること)

	合計	Q15 介護職員・看護職員等が武蔵野市で働き続けるために市に求めること									
		人材確保のための施策の推進	教育・研修の拡大・充実	制度改正に関する国への働きかけ	多職種による情報交換の機会の拡大	市独自の福祉施策の推進	相談窓口の充実	事業者連絡会等の充実	その他	無回答	
全体	1693 100.0%	849 50.1%	624 36.9%	404 23.9%	369 21.8%	287 17.0%	217 12.8%	100 5.9%	121 7.1%	167 9.9%	
Q4(2)小計	464 100.0%	232 50.0%	182 39.2%	89 19.2%	119 25.6%	92 19.8%	72 15.5%	29 6.3%	33 7.1%	36 7.8%	
Q4(2) 主な職種：障害者(児)を対象としたサービス	介護職員	118 100.0%	45 38.1%	48 40.7%	21 17.8%	33 28.0%	24 20.3%	20 16.9%	5 4.2%	9 7.6%	12 10.2%
	看護職員	11 100.0%	6 54.5%	5 45.5%	1 9.1%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	2 18.2%	1 9.1%
	生活支援員	123 100.0%	69 56.1%	49 39.8%	16 13.0%	37 30.1%	29 23.6%	18 14.6%	6 4.9%	11 8.9%	10 8.1%
	就労支援員、職業指導員	54 100.0%	27 50.0%	18 33.3%	8 14.8%	14 25.9%	9 16.7%	7 13.0%	2 3.7%	4 7.4%	4 7.4%
	リハビリテーション職員	10 100.0%	5 50.0%	6 60.0%	5 50.0%	1 10.0%	1 10.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
	サービス提供責任者	23 100.0%	15 65.2%	6 26.1%	5 21.7%	7 30.4%	2 8.7%	6 26.1%	2 8.7%	0 0.0%	1 4.3%
	サービス管理責任者	27 100.0%	17 63.0%	11 40.7%	8 29.6%	5 18.5%	9 33.3%	4 14.8%	3 11.1%	1 3.7%	1 3.7%
	指導員	72 100.0%	30 41.7%	27 37.5%	15 20.8%	19 26.4%	10 13.9%	13 18.1%	5 6.9%	5 6.9%	7 9.7%
	児童発達管理責任者	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	管理者	24 100.0%	17 70.8%	12 50.0%	8 33.3%	1 4.2%	6 25.0%	1 4.2%	5 20.8%	1 4.2%	0 0.0%

(経験年数×市に求めること)

	合計	Q15 介護職員・看護職員等が武蔵野市で働き続けるために市に求めること									
		人材確保のための施策の推進	教育・研修の拡大・充実	制度改革に関する国への働きかけ	多職種による情報交換の機会の拡大	市独自の福祉施策の推進	相談窓口の充実	事業者連絡会等の充実	その他	無回答	
全体	1693 100.0%	849 50.1%	624 36.9%	404 23.9%	369 21.8%	287 17.0%	217 12.8%	100 5.9%	121 7.1%	167 9.9%	
Q6(1) 経験年数:年	1年未満	97 100.0%	44 45.4%	45 46.4%	25 25.8%	19 19.6%	16 16.5%	15 15.5%	1 1.0%	3 3.1%	8 8.2%
	1年以上3年未満	190 100.0%	103 54.2%	70 36.8%	43 22.6%	34 17.9%	28 14.7%	29 15.3%	9 4.7%	18 9.5%	12 6.3%
	3年以上5年未満	147 100.0%	72 49.0%	53 36.1%	40 27.2%	30 20.4%	21 14.3%	27 18.4%	7 4.8%	7 4.8%	13 8.8%
	5年以上10年未満	415 100.0%	220 53.0%	149 35.9%	93 22.4%	93 22.4%	70 16.9%	47 11.3%	19 4.6%	39 9.4%	32 7.7%
	10年以上	807 100.0%	399 49.4%	299 37.1%	190 23.5%	186 23.0%	147 18.2%	96 11.9%	62 7.7%	51 6.3%	93 11.5%

(武蔵野市での経験年数×市に求めること)

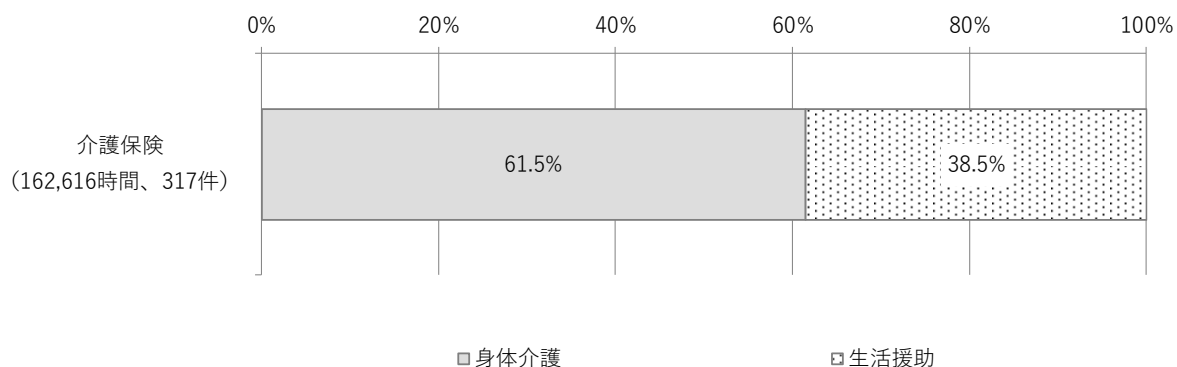
	合計	Q15 介護職員・看護職員等が武蔵野市で働き続けるために市に求めること									
		人材確保のための施策の推進	教育・研修の拡大・充実	制度改革に関する国への働きかけ	多職種による情報交換の機会の拡大	市独自の福祉施策の推進	相談窓口の充実	事業者連絡会等の充実	その他	無回答	
全体	1693 100.0%	849 50.1%	624 36.9%	404 23.9%	369 21.8%	287 17.0%	217 12.8%	100 5.9%	121 7.1%	167 9.9%	
Q6(2) うち、武蔵野市内での経験年数:年	1年未満	249 100.0%	120 48.2%	103 41.4%	60 24.1%	53 21.3%	44 17.7%	32 12.9%	15 6.0%	20 8.0%	19 7.6%
	1年以上3年未満	323 100.0%	168 52.0%	114 35.3%	81 25.1%	70 21.7%	50 15.5%	38 11.8%	15 4.6%	29 9.0%	22 6.8%
	3年以上5年未満	199 100.0%	101 50.8%	69 34.7%	55 27.6%	43 21.6%	32 16.1%	30 15.1%	9 4.5%	6 3.0%	17 8.5%
	5年以上10年未満	399 100.0%	215 53.9%	161 40.4%	85 21.3%	81 20.3%	67 16.8%	50 12.5%	23 5.8%	35 8.8%	32 8.0%
	10年以上	462 100.0%	225 48.7%	158 34.2%	106 22.9%	105 22.7%	88 19.0%	56 12.1%	35 7.6%	29 6.3%	63 13.6%

9. 1週間の訪問サービスにおける提供時間

問 16 1週間の訪問サービスにおける提供時間について、各サービスの内訳を記入してください。

※問3の職種で、訪問介護、訪問入浴、定期巡回、夜間対応型、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援のいずれかを選択した方を対象

《介護保険》



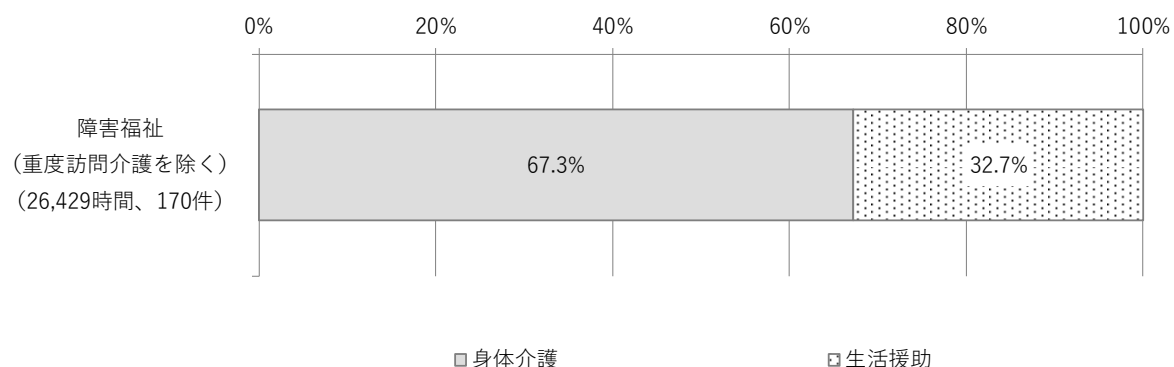
(年齢別・提供時間帯別の提供時間の割合)

	身体介護 (99,988時間)					生活援助 (62,628時間)				
	早朝 6時～8時	日中 8時～18時	夜間 18時～22時	深夜 22時～6時	合計	早朝 6時～8時	日中 8時～18時	夜間 18時～22時	深夜 22時～6時	合計
80歳以上	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%
70歳以上80歳未満	0.3%	10.9%	0.8%	0.0%	12.0%	0.1%	14.8%	0.0%	0.0%	14.9%
60歳以上70歳未満	0.6%	31.1%	1.9%	0.2%	33.8%	0.0%	36.8%	1.1%	0.0%	37.9%
50歳以上60歳未満	1.4%	30.0%	0.7%	0.2%	32.3%	1.1%	30.9%	0.3%	0.0%	32.4%
40歳以上50歳未満	0.1%	9.1%	0.3%	0.6%	10.0%	0.0%	7.6%	0.0%	0.0%	7.6%
30歳以上40歳未満	0.1%	7.0%	0.1%	0.1%	7.4%	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	4.4%
30歳未満	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%
合計	2.5%	92.6%	3.8%	1.1%	100.0%	1.3%	97.3%	1.4%	0.0%	100.0%

※左の表：身体介護の全合計時間を100%とした場合の割合を示している。

※右の表：生活援助の全合計時間を100%とした場合の割合を示している。

《障害福祉（重度訪問介護は除く）》



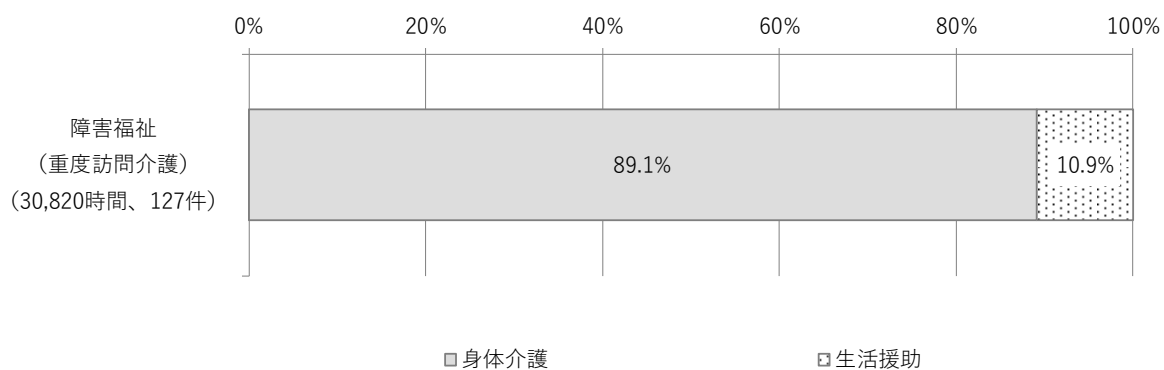
(年齢別・提供時間帯別の提供時間の割合)

	身体介護 (17,774時間)					生活援助 (8,655時間)				
	早朝 6時～8時	日中 8時～18時	夜間 18時～22時	深夜 22時～6時	合計	早朝 6時～8時	日中 8時～18時	夜間 18時～22時	深夜 22時～6時	合計
80歳以上	0.0%	0.8%	0.2%	0.0%	1.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
70歳以上80歳未満	1.0%	19.9%	3.0%	0.7%	24.6%	0.2%	25.0%	4.7%	0.0%	29.8%
60歳以上70歳未満	0.0%	7.4%	5.7%	0.0%	13.2%	0.0%	9.4%	10.4%	0.0%	19.8%
50歳以上60歳未満	0.0%	36.3%	9.2%	0.0%	45.5%	0.0%	20.1%	3.7%	0.0%	23.8%
40歳以上50歳未満	0.3%	7.8%	1.4%	0.0%	9.5%	0.7%	15.3%	0.7%	0.0%	16.6%
30歳以上40歳未満	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%	9.5%	0.3%	0.0%	9.9%
30歳未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1.4%	78.0%	20.0%	0.7%	100.0%	0.9%	79.3%	19.8%	0.0%	100.0%

※左の表：身体介護の全合計時間を100%とした場合の割合を示している。

※右の表：生活援助の全合計時間を100%とした場合の割合を示している。

《障害福祉（重度訪問介護）》



(年齢別・提供時間帯別の提供時間の割合)

	身体介護 (27,456時間)					生活援助 (3,364時間)				
	早朝 6時～8時	日中 8時～18時	夜間 18時～22時	深夜 22時～6時	合計	早朝 6時～8時	日中 8時～18時	夜間 18時～22時	深夜 22時～6時	合計
80歳以上	0.7%	3.9%	3.8%	1.7%	10.1%	0.0%	1.5%	3.3%	0.0%	4.9%
70歳以上80歳未満	1.6%	10.0%	4.1%	8.7%	24.5%	1.8%	1.8%	1.8%	0.9%	6.2%
60歳以上70歳未満	0.5%	2.8%	1.9%	1.1%	6.4%	1.2%	0.0%	8.0%	8.5%	17.7%
50歳以上60歳未満	0.5%	20.3%	6.9%	2.3%	30.0%	0.0%	39.2%	5.4%	0.9%	45.5%
40歳以上50歳未満	1.7%	6.4%	4.2%	8.7%	21.1%	5.4%	8.9%	0.0%	0.0%	14.3%
30歳以上40歳未満	1.3%	1.3%	0.0%	5.2%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	4.3%
合計	6.4%	44.9%	20.8%	27.9%	100.0%	15.5%	55.8%	18.5%	10.3%	100.0%

※左の表：身体介護の全合計時間を100%とした場合の割合を示している。

※右の表：生活援助の全合計時間を100%とした場合の割合を示している。

第4章 武蔵野市介護施設等における入退所調査結果

1. 施設等の概要

問1 貴施設等の概要（定員数など、入所・入居者数、貴施設等の待機者数、特別養護老人ホームの待機者数（申込者数））について、以下にご記入ください。

定員数等は、以下のとおりであった。

<定員数など（単位：人）>

	回答数（件）	合計値	平均値
特別養護老人ホーム	13	927	71.3
介護老人保健施設	3	168	56.0
介護療養型医療施設	1	22	22.0
特定施設入居者生活介護	6	445	74.2
グループホーム	2	36	18.0
住宅型有料老人ホーム	3	99	33.0
軽費老人ホーム	1	30	30.0

※住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホームには居室数（単位は「室」、その他の施設等には定員数（単位は「人」）を尋ねた。

入所利用率・入居率をみると、介護老人保健施設、介護療養型医療施設を除くすべてのサービス種別で平均値が80%を超えていた。

<入所利用率・入居率（単位：%）>

	回答数（件）	平均値
特別養護老人ホーム	13	96.1
介護老人保健施設	3	76.5
介護療養型医療施設	1	72.7
特定施設入居者生活介護	6	82.6
グループホーム	2	100.0
住宅型有料老人ホーム	3	100.0
軽費老人ホーム	1	86.7

※住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホームには「入居済み居室数／居室数」、その他の施設等には「入居・入所者数／定員数」を尋ねた。

自施設等の待機者数をみると、特別養護老人ホームでは平均 476.7 人、グループホームでは平均 13.0 人、介護老人保健施設では平均 4.3 人の待機者がいた。

＜自施設等の待機者数（単位：人）＞

	回答数（件）	合計値	平均値
特別養護老人ホーム	10	4767	476.7
介護老人保健施設	3	13	4.3
介護療養型医療施設	1	0	0.0
特定施設入居者生活介護	4	0	0.0
グループホーム	2	26	13.0
住宅型有料老人ホーム	3	2	0.7
軽費老人ホーム	1	1	1.0

特別養護老人ホームの待機者数をみると、介護老人保健施設で平均 5.0 人、グループホームで平均 2.0 人であった。

＜特別養護老人ホームの待機者数（単位：人）＞

	回答数（件）	合計値	平均値
介護老人保健施設	2	10	5.0
介護療養型医療施設	1	0	0.0
特定施設入居者生活介護	3	0	0.0
グループホーム	2	4	2.0
住宅型有料老人ホーム	3	0	0.0
軽費老人ホーム	1	0	0.0

※記入のあった施設等を集計対象とした。

問2 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。（数値を記入）

入所・入居者の要支援・要介護度をみると、要介護度3から要介護度5の割合が多いのは、順に「特別養護老人ホーム」、「介護療養型医療施設」、「介護老人保健施設」の順であった。

<入所・入居者の要支援・要介護度（合計値、下段割合）>

	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中・ 不明	合計
特別養護老人ホーム (n=13)	0	0	0	6	29	193	345	316	1	890
	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	3.3%	21.7%	38.8%	35.5%	0.1%	100.0%
介護老人保健施設 (n=3)	0	0	0	10	15	42	31	25	0	123
	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%	12.2%	34.1%	25.2%	20.3%	0.0%	100.0%
介護療養型医療施設 (n=1)	0	0	0	0	0	3	4	8	1	16
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	25.0%	50.0%	6.3%	100.0%
特定施設入居者生活介護 (n=6)	27	29	28	71	56	56	50	36	21	374
	7.2%	7.8%	7.5%	19.0%	15.0%	15.0%	13.4%	9.6%	5.6%	100.0%
グループホーム (n=2)	0	0	0	1	8	17	2	8	0	36
	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	22.2%	47.2%	5.6%	22.2%	0.0%	100.0%
住宅型有料老人ホーム (n=3)	7	7	7	22	15	8	16	15	2	99
	7.1%	7.1%	7.1%	22.2%	15.2%	8.1%	16.2%	15.2%	2.0%	100.0%
軽費老人ホーム (n=1)	15	1	0	5	3	2	0	0	0	26
	57.7%	3.8%	0.0%	19.2%	11.5%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

2. 医療処置を受けている人数

問3 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。(数値を記入※該当者がいない場合は「0」を記入してください。)

医療処置を受けている人数・割合は、以下の通りであった。

＜医療処置を受けている人数・割合（合計値、下段割合）＞

	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマの処置	酸素療法	レスピレーター	気管切開の処置	疼痛の看護	経管栄養	モニター測定	褥瘡の処置	カテーテル	喀痰吸引	インスリン注射	入居・入所者数
全体 (n=29)	3	1	2	10	13	0	0	7	48	3	34	18	55	12	1,564
	0.2%	0.1%	0.1%	0.6%	0.8%	0.0%	0.0%	0.4%	3.1%	0.2%	2.2%	1.2%	3.5%	0.8%	100.0%
特別養護老人ホーム (n=13)	0	0	1	5	4	0	0	0	20	0	13	8	17	1	890
	0.0%	0.0%	0.1%	0.6%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	1.5%	0.9%	1.9%	0.1%	100.0%
介護老人保健施設 (n=3)	0	0	0	3	0	0	0	0	6	0	4	0	4	0	123
	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
介護療養型医療施設 (n=1)	2	1	0	0	2	0	0	0	6	3	1	4	8	0	16
	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	18.8%	6.3%	25.0%	50.0%	0.0%	100.0%
特定施設入居者生活介護 (n=6)	1	0	1	2	6	0	0	7	16	0	15	4	17	9	374
	0.3%	0.0%	0.3%	0.5%	1.6%	0.0%	0.0%	1.9%	4.3%	0.0%	4.0%	1.1%	4.5%	2.4%	100.0%
グループホーム (n=2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
住宅型有料老人ホーム (n=3)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	9	0	99
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	2.0%	9.1%	0.0%	100.0%
軽費老人ホーム (n=1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	26
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	100.0%

※割合は各セルの人数を施設等ごとの入居・入所者数で除して算出

3. 過去2年間の入所・入居者数

問4 過去2年間（平成29年10月1日～令和元年9月30日）に、新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

過去2年間の入所・入居者数は、以下の通りであった。

＜過去2年間の入所・入居者数（単位：人）＞

	回答数（件）	合計値	平均値
特別養護老人ホーム	13	443	34.1
介護老人保健施設	3	419	139.7
介護療養型医療施設	1	24	24.0
特定施設入居者生活介護	6	128	21.3
グループホーム	2	7	3.5
住宅型有料老人ホーム	2	33	16.5
軽費老人ホーム	1	8	8.0

※記入のあった施設等を集計対象とした。

問5 問4の過去2年間の新規の入所・入居者について、入所・入居前の居場所別人数をご記入ください。

過去2年間の新規入所・入居者の入所・入居前の居場所は、以下の通りであった。

＜過去2年間の新規入所・入居者の入所・入居前の居場所（合計値、上段：市内、下段：市外）＞

	自宅		住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設	療養型	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	その他	把握していない
	市内	市外												
特別養護老人ホーム（n=13）	120	6	1	2	3	14	0	98	12	1	0	50	0	
	26	3	2	1	2	5	0	37	3	1	0	56		
介護老人保健施設（n=2）	49	2	0	0	0	0	0	10	0	0	0	27	0	
	46	3	0	0	0	0	0	16	0	1	0	40		
介護療養型医療施設（n=1）	11	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	
	2	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0		
特定施設入居者生活介護（n=6）	55	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	4	0	
	59	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0		
グループホーム（n=2）	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
住宅型有料老人ホーム（n=2）	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3	0	
	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7		
軽費老人ホーム（n=1）	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	403	16	3	5	5	22	0	170	15	9	0	187	2	

※介護老人保健施設の1施設では、市内と市外を合算した値での回答であったため、上表には含まれていない。

（回答内容は、自宅：74、老健：11、特定施設：12、その他：128）

※住宅型有料老人ホーム1施設では、回答がなかった。

4. 過去2年間の退所・退居者数

問6 過去2年間（平成29年10月1日～令和元年9月30日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

過去2年間の退所・退居者数は、以下の通りであった。

＜過去2年間の退所・退居者数（単位：人）＞

	回答数（件）	合計値	平均値
特別養護老人ホーム	13	429	33.0
介護老人保健施設	3	431	143.7
介護療養型医療施設	1	25	25.0
特定施設入居者生活介護	6	135	22.5
グループホーム	2	7	3.5
住宅型有料老人ホーム	2	34	17.0
軽費老人ホーム	1	9	9.0

※記入のあった施設等を集計対象とした。死亡・搬送先での死亡を含む。

問7 過去2年間（平成29年10月1日～令和元年9月30日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

退所・退居者の要支援・要介護度をみると、要介護度3から要介護度5の割合が多いのは、順に「グループホーム」、「特別養護老人ホーム」、「介護療養型医療施設」の順であった。

＜退所・退居者の要支援・要介護度（合計値、下段割合）＞

	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
特別養護老人ホーム (n=13)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	14 12.0%	37 31.6%	65 55.6%	0 0.0%	117 100.0%
介護老人保健施設 (n=3)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	39 9.8%	56 14.1%	116 29.3%	108 27.3%	77 19.4%	0 0.0%	396 100.0%
介護療養型医療施設 (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	7 35.0%	8 40.0%	3 15.0%	20 100.0%
特定施設入居者生活介護 (n=6)	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	5 20.8%	7 29.2%	5 20.8%	4 16.7%	2 8.3%	0 0.0%	24 100.0%
グループホーム (n=2)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%	6 100.0%
住宅型有料老人ホーム (n=2)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	5 45.5%	1 9.1%	3 27.3%	1 9.1%	0 0.0%	11 100.0%
軽費老人ホーム (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%

※死亡は含んでいない。

問8 問6で記入いただいた過去2年間の退居者について、退去先別の人数をご記入ください。

過去2年間の行き先別の退所・退居者数は、以下の通りであった。

<過去2年間の退所・退居者数（行き先別の合計値、上段：市内、下段：市外）>

	自宅	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設	療養型	病院・診療所	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	その他	把握していない	死亡
特別養護老人ホーム (n=13)	0	1	0	0	2	0	0	33	30	1	0	19	1	312
	1	0	0	0	0	0	0	21	4	2	0	2		
介護老人保健施設 (n=2)	44	3	0	0	0	0	9	0	11	17	0	5	0	35
	46	3	0	0	0	0	12	0	6	17	0	5		
介護療養型医療施設 (n=1)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6	5
	0	0	1	0	0	0	0	8	0	1	0	0		
特定施設入居者生活介護 (n=6)	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	111
	1	1	0	0	2	0	0	1	10	2	0	0		
グループホーム (n=2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
住宅型有料老人ホーム (n=2)	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	23
	1	1	1	0	0	0	0	6	0	0	0	0		
軽費老人ホーム (n=1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0		
計	96	12	2	0	5	0	22	69	63	50	0	32	11	490

※介護老人保健施設の1施設では、市内と市外を合算した値での回答であったため、上表には含まれていない。

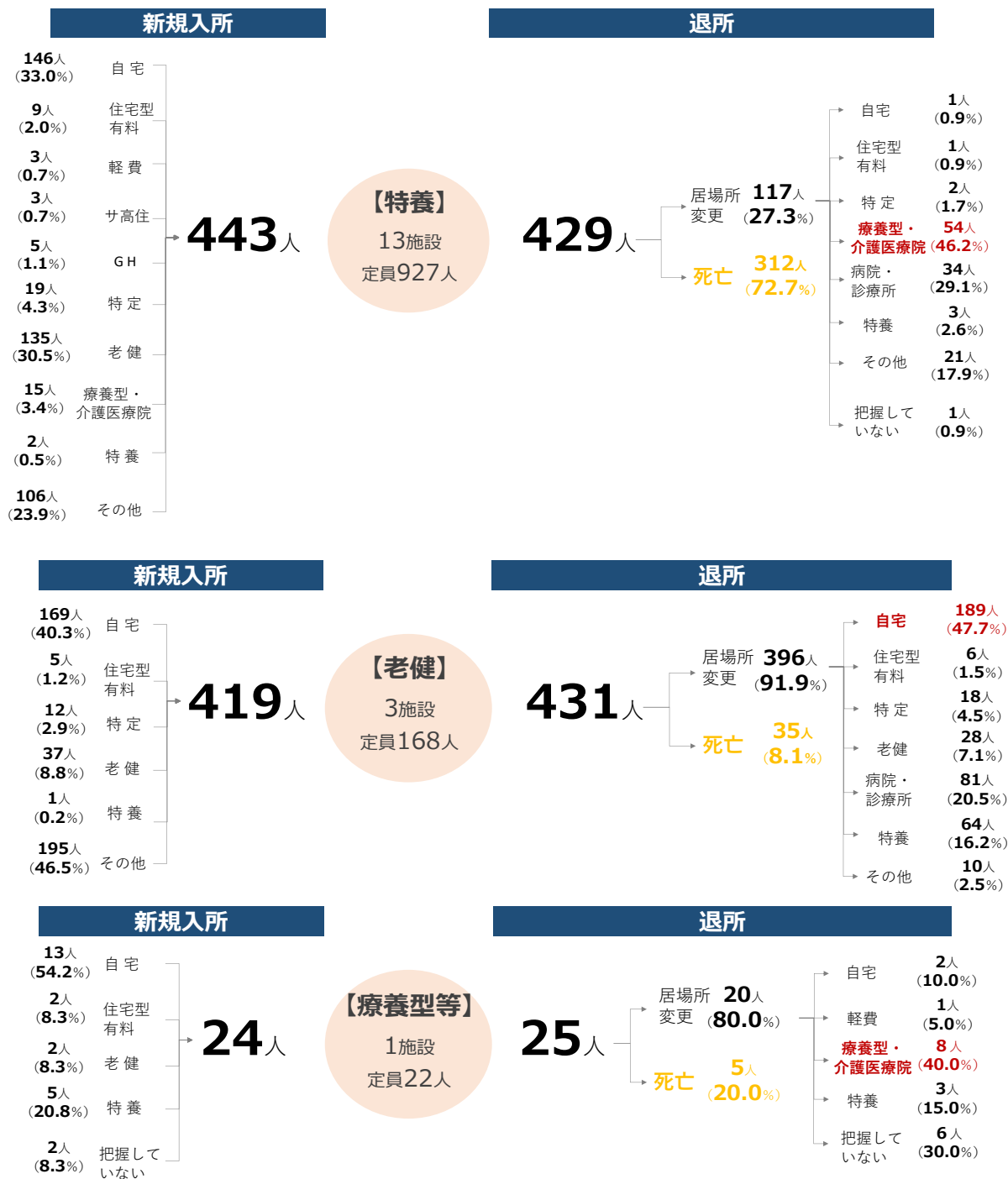
(回答内容は、自宅：99、特定施設：18、老健：7、病院・診療所：64、特養：30)

※住宅型有料老人ホーム1施設では、回答がなかった。

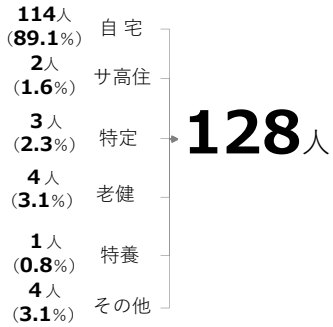
5. 過去2年間の入所・入居及び退所・退居の流れ

過去2年間の入所・入居及び退所・退居の流れは以下の通りであった。

「定員数など」は問1、「新規入所／入居」は問5、「退所／退居」は問8の値を用いている。

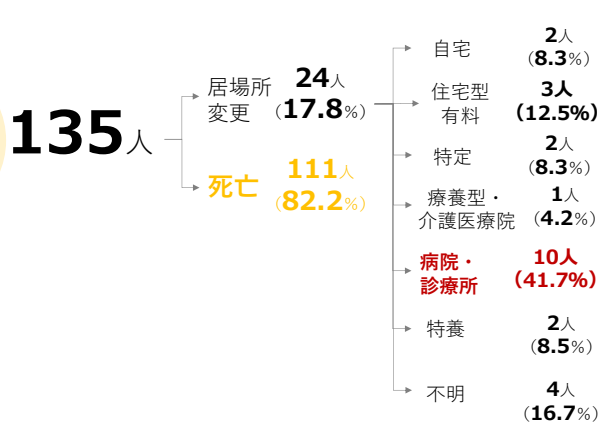


新規入居

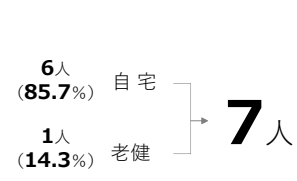


【特定】
 6施設
 定員445人

退居

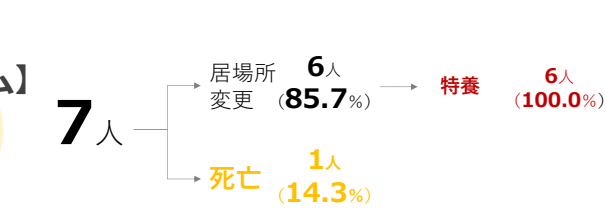


新規入居

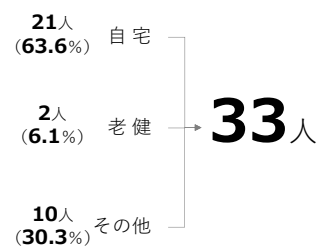


【グループホーム】
 2施設
 定員36人

退居

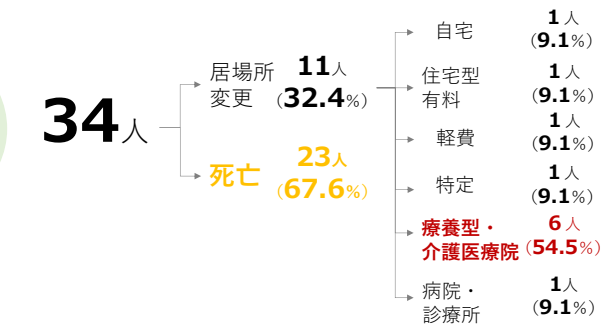


新規入居



【住宅型有料】
 2施設
 97室

退居

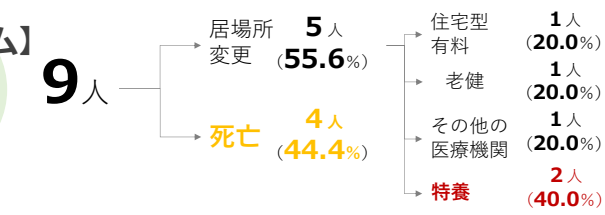


新規入居



【軽費老人ホーム】
 1施設
 30室

退居

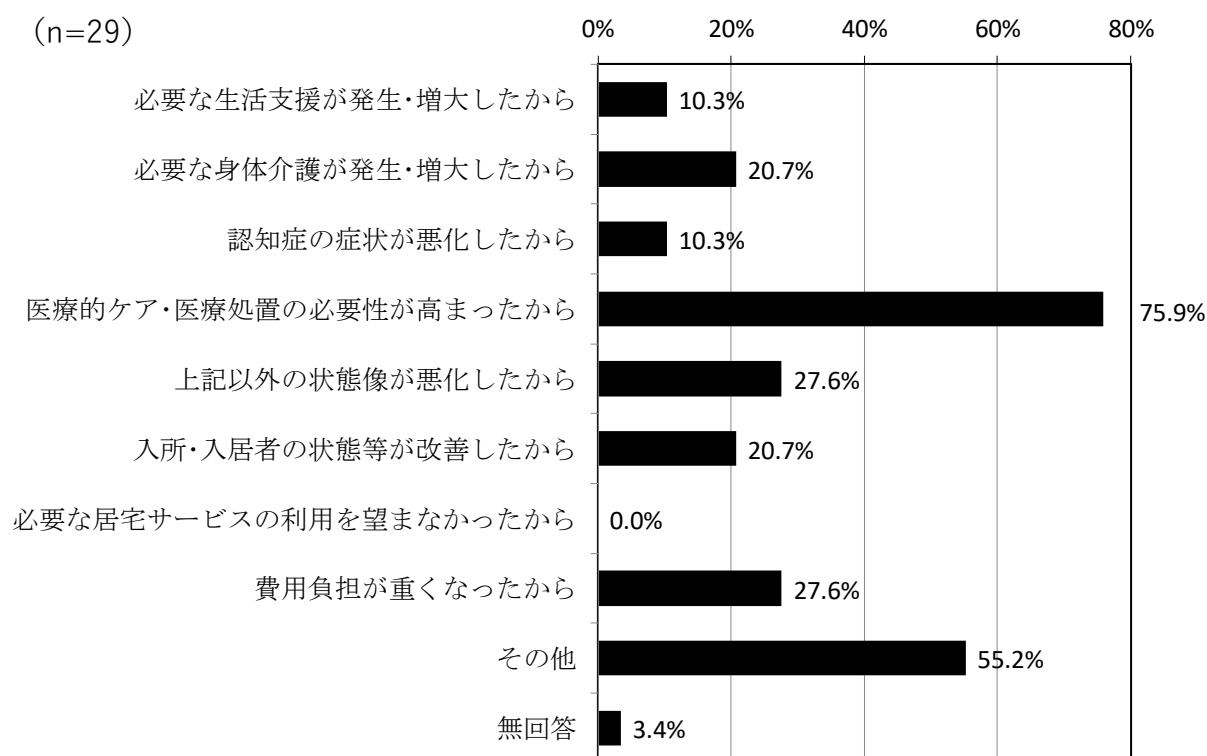


6. 入居・入所者の退去理由

問9 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する口に✓を付けてください

入居・入所者が退去する理由は、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が75.9%と最も高かった。

<順位不問>



<1位～3位>

No.	カテゴリー名	1位		2位		3位	
		n	%	n	%	n	%
1	必要な生活支援が発生・増大したから	0	0.0%	1	3.4%	2	6.9%
2	必要な身体介護が発生・増大したから	2	6.9%	3	10.3%	1	3.4%
3	認知症の症状が悪化したから	0	0.0%	2	6.9%	1	3.4%
4	医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	7	24.1%	11	37.9%	4	13.8%
5	1～4以外の状態像が悪化したから	3	10.3%	4	13.8%	1	3.4%
6	入所・入居者の状態等が改善したから	3	10.3%	1	3.4%	2	6.9%
7	必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8	費用負担が重くなったから	2	6.9%	4	13.8%	2	6.9%
9	その他	11	37.9%	1	3.4%	4	13.8%
	無回答	1	3.4%	2	6.9%	12	41.4%
	全体	29	100.0%	29	100.0%	29	100.0%

＜サービス種別 入居・入所者の退去理由（順位不問）（単位：件数）＞

	必要な生活支援が発生・増大した	必要な身体介護が発生・増大した	認知症の症状が悪化した	医療的ケア・医療処置の必要性が高まった	左記以外の状態像が悪化した	入所・入居者の状態等が改善した	必要な居宅サービスの利用を望まなかった	費用負担が重くなった	その他	無回答
特別養護老人ホーム (n=13)	0	0	2	12	3	2	0	0	8	1
介護老人保健施設 (n=3)	0	2	0	3	0	3	0	0	1	0
介護療養型医療施設 (n=1)	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0
特定施設入居者生活介護 (n=6)	0	1	0	3	1	1	0	4	5	0
グループホーム (n=2)	2	2	0	1	0	0	0	1	0	0
住宅型有料老人ホーム (n=2)	0	0	0	2	3	0	0	2	2	0
軽費老人ホーム (n=1)	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
計	3	6	3	22	8	6	0	8	16	1

資料 使用した調査票

〒***-****

武蔵野市〇〇*-*-*

〇〇事業所 管理者様

武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査【事業所票】

本調査票は、

※事業種別名称※

に所属する職員について
ご回答ください

※本調査は、施設・サービス事業所の施設長・管理者を対象とした調査です。

※本調査における「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

※本調査における「正規職員」とは、期間の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期間の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

■ 3桁の調査番号

職員票の問1に記載する番号

※職員票を配付する際にお伝えください

999

問1 介護職員・看護職員・リハビリテーション職員の総数を実人数でお答えください。

(R1年10月1日現在) ※数値を記入、いない場合は「0」と記入

	正規職員		非正規職員	
介護職員		人		人
看護職員		人		人
リハ職員		人		人

問2 貴施設・事業所はこの調査票を受け取った時点で、開設から1年以上経過していますか。

※あてはまるもの1つに「○」

① はい ② いいえ ➡ 「② いいえ」と答えた方は問4へ
 ↓ 「① はい」と答えた方は問3へ

問3 過去1年間（H30年10月1日～R1年9月30日）の介護職員の採用者数と離職者数を

年齢別に実人数でお答えください。 ※数値を記入、該当者がいない場合は「0」と記入

年齢 (採用、離職当時)	採用者数 (人事異動・配置転換・研修等は除く)		離職者数 (人事異動・配置転換・研修等は除く)	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満		人	人	人
20歳～29歳		人	人	人
30歳～39歳		人	人	人
40歳～49歳		人	人	人
50歳～59歳		人	人	人
60歳～69歳		人	人	人
70歳以上		人	人	人
年齢不明		人	人	人

裏面に続きます。

武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査【職員票】

○本調査票は、介護職員・訪問介護員・看護職員・リハビリテーション職員の方（ボランティアの方を除く）が対象です。
 ○問2・6・8・9-3・16は数字を記入、その他はそれぞれ当てはまるものに「○」をしてください。※R1年10月1日現在について
 ○12月3日（火）までに施設・事業所ごとにまとめてご返送ください。 ○本調査票は、1人1枚ご回答ください。

事業所票に記載のある 3ケタの調査番号													
問1	性別（1つに○）	① 男性	② 女性	問2	年齢（数字を記入） ※R1年10月1日現在				歳				
問3	所属 （複数選択可） ※兼務先を含む	（1）介護保険法に定められたサービス ① 訪問介護（要介護1～5の方を対象） ② 訪問型サービス（総合事業） ③ 訪問入浴 ④ 訪問リハビリテーション ⑤ 訪問看護 ⑥ 通所介護（要介護1～5の方を対象） ⑦ 通所型サービス（総合事業） ⑧ 地域密着型通所介護 ⑨ 通所リハビリテーション（デイケア） ⑩ 短期入所生活介護（ショートステイ） ⑪ 短期入所療養介護（ショートステイ） ⑫ 特定施設入居者生活介護（特定施設） ⑬ 定期巡回・随時対応型訪問看護看護（定期巡回サービス） ⑭ 夜間対応型訪問介護（夜間対応型） ⑮ 看護小規模多機能型居宅介護（看多機） ⑯ 認知症対応型通所介護（認知症デイ） ⑰ 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）			（1）介護保険法に定められたサービス ⑱ 介護老人福祉施設（特養） ⑲ 介護老人保健施設（老健） ⑳ 介護療養型医療施設（療養型） （2）障害者（児）を対象としたサービス ① 居宅介護、 重度訪問介護 ⑧ 共同生活援助 ② 同行援護 ⑨ 施設入所支援 ③ 行動援護 ⑩ 就労移行支援 ④ 移動支援 ⑪ 就労継続支援A型 ⑤ 訪問看護 ⑫ 就労継続支援B型 ⑥ 生活介護 ⑬ 児童発達支援、 放課後等デイ ⑦ 短期入所 ⑭ 日中一時支援			（3）その他のサービス ① サービス付き高齢者向け住宅*（サ高住） ② 住宅型有料老人ホーム（住宅型有料） ③ 軽費老人ホーム*			※特定施設を除く		
問4	問3（1）（3）のサービスから1つ以上選択した方に伺います。主な職種1つに○してください。	（1）問3で、介護保険法に定められたサービス、その他のサービスから選択した方（○は1つ） ① 介護職員 ② 看護職員 ③ サービス提供責任者 ④ 計画作成責任者 ⑤ リハビリテーション職員* ⑥ 施設長、管理者 <small>※理学療法士、作業療法士等（機能訓練指導員含む）</small>											
問4	問3（2）のサービスから1つ以上選択した方に伺います。主な職種1つに○してください。	（2）問3で、障害者（児）を対象としたサービスから選択した方（○は1つ） ① 介護職員 ③ 生活支援員 ⑤ リハビリテーション職員* ⑦ サービス管理責任者 ⑨ 児童発達管理責任者 ⑩ 管理者 ② 看護職員 ④ 就労支援員、職業指導員 ⑥ サービス提供責任者 ⑧ 指導員 ※理学療法士、作業療法士等（機能訓練指導員含む）											
問5	保有資格（複数選択可）	① 介護福祉士 ⑦ 認知症ケアヘルパー ⑬ 理学療法士 ⑲ 精神保健福祉士 ② 実務者研修修了、 介護職員初任者研修修了 ⑧ 武蔵野市認定ヘルパー ⑭ 作業療法士 ⑳ 保育士 ③ 居宅介護従事者養成研修修了 ⑨ 介護支援専門員 ⑮ 言語聴覚士 ㉑ 幼稚園、 学校教諭 ④ 同行援護従事者養成研修修了 ⑩ 助産師 ⑯ 保健師 ㉒ その他 ⑤ 行動援護従事者養成研修修了 ⑪ 看護師 ⑰ 心理士 ㉓ 資格なし ⑥ 重度訪問介護従事者 養成研修修了 ⑫ 准看護師 ⑱ 社会福祉士											
問6	経歴年数 ※介護・福祉関係の仕事に 現業として従事したトータル		年		か月		うち、武蔵野市内での経歴年数		年		か月		
問7	雇用形態（1つに○）	① 正規職員 ② 契約社員、嘱託、 パート、アルバイト ③ 派遣職員 ④ その他（雇用契約外の職員）											
問8	勤務時間（直近1週間分） ※兼務先の勤務時間含む	時間											
問9	転職経験（1つに○）	① あり ② なし ⇒ 問10へ			問9-2		問9で①と答えた方に伺います。		① 武蔵野市内				
問9-1	問9で「①あり」を選択した方に伺います。 現在の1つ前の勤務先（1つに○）	① 介護以外の勤務先 ⑤ 小多機、看多機 ② 特養、老健、療養型、介護医療院 ⑥ デイサービス、デイケア 認知症デイ ③ ショートステイ、 グループホーム、特定施設 ⑦ サ高住*、住宅型有料、軽費 老人ホーム* ※特定施設除く ④ 訪問介護、訪問入浴、 夜間対応型、定期巡回サービス ⑧ その他の介護サービス			問9-3		問9で①と答えた方に伺います。		② 武蔵野市外				
						問9で①と答えた方に伺います。		① 武蔵野市内					
						問9で①と答えた方に伺います。		② 武蔵野市外					
						問9で①と答えた方に伺います。		③ 年 ④ か月					
						問9で①と答えた方に伺います。		⑤ 年 ⑥ か月					
問10	ケアリビミック武蔵野への参加・来場経験（1つに○）	① 参加・来場経験あり ② 参加・来場経験なし											

【裏面もございます】

問11	地域包括ケア人材育成センターの活用状況 (複数選択可)	① 初任者研修、武蔵野市認定ヘルパー養成研修、認定ヘルパーフォローアップ研修の受講 ② 技術研修、認知症支援研修、潜在的有資格者復帰研修の受講 ③ 介護従事者の悩み相談室の利用 ④ お仕事フェア、就職相談会への参加	⑤ 管理者・経営者向け研修の受講 ⑥ 地域包括ケア人材育成センターの存在は知っていたが、特に活用したことはない ⑦ 地域包括ケア人材育成センターの存在を知らない ⑧ その他 ()
問12	地域包括ケア人材育成センターに求めること (複数選択可) ※③を選択した方は「スキルアップ研修」の具体的な内容もご記入ください	① 初任者研修の開催回数の増加 ② 喀痰吸引等研修の実施 ③ スキルアップ研修開催の増加 (研修内容を具体的に：) ④ 市内に所在する施設・事業所の見学会の実施 ⑤ 制度や報酬等に関する解説等のホームページへの掲載	⑥ 制度や報酬等に関する解説等のホームページへの掲載 ⑦ 求人情報のホームページへの掲載 ⑧ 「介護従事者の悩み相談」の対象者の拡充 ⑨ その他 () ⑩ 特になし
問13	約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向 (1つに○)	① 武蔵野市で働き続けたい ② 武蔵野市外で働きたい	③ 介護・障害分野以外の仕事に変わりたい ④ 先のことは考えていない
問13-1	【問13で「①武蔵野市で働き続けたい」を選択した方のみ】 武蔵野市で働き続ける上で、特にモチベーションの向上につながっていること (最大3つまで○)	① 利用者・家族からの感謝 ② 事業所の理念や運営方針への共感 ③ キャリアのステップアップが見込めること ④ 市の担当職員との円滑なコミュニケーション ⑤ 在宅介護・地域包括支援センターの職員との円滑なコミュニケーション	⑥ ケアリンピックの開催等、市が仕事ぶりを評価してくれること ⑦ 市内の研修等が充実していること ⑧ 賃金等の処遇 ⑨ 職場の人間関係、雰囲気が良い ⑩ その他 ()
問13-2	【問13で「③介護・障害分野以外の仕事に変わりたい」を選択した方のみ】 理由は何ですか (最大3つまで○)	① 賃金が低い ② 社会的評価が低いと感じる ③ 事業所の理念や運営方針に不満がある ④ キャリアアップの道筋が見えない	⑤ 慢性的な人材不足により業務負担が多い ⑥ 業務内容が体力的に辛い ⑦ 職場の人間関係に疲弊した ⑧ その他 ()
問14	外国人介護職員の受け入れに対して、どのように考えていますか (最大3つまで○)	① 人材が不足している中では、積極的に受け入れていくべきである ② 言語の違いにより、うまくコミュニケーションが取れるかが不安 ③ 利用者やその家族が受け入れてくれるかが不安 ④ 職場の受け入れ環境(文化、宗教等)が整えられるかが不安 ⑤ よくわからない ⑥ その他 ()	
問15	介護職員・看護職員等が武蔵野市で働き続けるために市に求めること (最大3つまで○)	① 教育・研修の拡大・充実 ② 多職種による情報交換の機会の拡大 ③ 事業者連絡会等の充実 ④ 相談窓口の充実	⑤ 人材確保のための施策の推進 ⑥ 市独自の福祉施策の推進 ⑦ 制度改正に関する国への働きかけ ⑧ その他 ()

問16 【「訪問介護員※」のみ対象】直近1週間の訪問サービスにおける提供時間の内訳を記入してください

※問3で訪問介護、訪問入浴、定期巡回、夜間対応型、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援を選択した方

○下表太枠の中に、提供した時間(分)をご記入ください。
○移動時間、待機時間は含みません。
例えば、「生活援助」における「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間のみです。
○記入する時間は「5分単位」とします。(例) 32分→30分、33分→35分と記入。

■介護保険

時間帯	身体介護	生活援助
早朝 6時～8時	分	分
日中 8時～18時	分	分
夜間 18時～22時	分	分
深夜 22時～6時	分	分

■障害福祉(重度訪問介護は除く)

時間帯	身体介護	生活援助
早朝 6時～8時	分	分
日中 8時～18時	分	分
夜間 18時～22時	分	分
深夜 22時～6時	分	分

■重度訪問介護

時間帯	身体介護	生活援助
早朝 6時～8時	分	分
日中 8時～18時	分	分
夜間 18時～22時	分	分
深夜 22時～6時	分	分

※自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助(自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)は、身体介護に含む

武蔵野市介護施設等における入退所調査

※ R1年10月1日現在の状況について、ご回答ください。

※ 本調査では、以下のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

- ・ 特定施設入居者生活介護
- ・ 認知症対応型共同生活介護
- ・ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- ・ 介護老人保健施設
- ・ 介護療養型医療施設
- ・ 住宅型有料老人ホーム
- ・ 軽費老人ホーム（特定施設除く）
- ・ サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）

問1 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

1) 定員数など	[] [人・戸・室] ※該当する単位に○
2) 入所・入居者数	[] 人
3) (貴施設等の) 待機者数	[] 人
4) 特別養護老人ホームの待機者数 (申込者数)	[] 人 ※特別養護老人ホームは回答不要

※ 「1) 定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。

※ 3)と4)は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記入してください。

問2 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。(数値を記入)

※ 下記の合計人数と、問1で記入いただいた「2) 入所・入居者数」が一致することを確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
[]人	[]人	[]人	[]人	[]人
要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	
[]人	[]人	[]人	[]人	

問3 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。(数値を記入)

※ 該当者がいない場合は「0」を記入してください。

1) 点滴の管理	[] 人	8) 中心静脈栄養	[] 人
2) 透析	[] 人	9) ストーマの処置	[] 人
3) 酸素療法	[] 人	10) レスピレーター	[] 人
4) 気管切開の処置	[] 人	11) 疼痛の看護	[] 人
5) 経管栄養	[] 人	12) モニター測定	[] 人
6) 褥瘡の処置	[] 人	13) カテーテル	[] 人
7) 喀痰吸引	[] 人	14) インスリン注射	[] 人

次ページ以降は、開設から2年以上経過した施設等が対象です。開設から2年未満の施設等は、ここまでで終了です。

ここからは、**過去2年間の新規の入所・入居者**についてお伺いします。

問4 過去2年間（H29年10月1日～R1年9月30日）に、新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

※ 貴施設等に入所・入居している人で、一時的な入院等で貴施設等に戻った人は含めないでください。

新規の入所・入居者数（合計）

〔 〕 人 ★

問5 問4の過去2年間の新規の入所・入居者について、入所・入居前の居場所別人数をご記入ください。

※ 下記「14) 合計」(★欄)と、問4の「新規の入所・入居者数（合計）」(★欄)が一致することを確認ください。

※ 一旦入院し、退院後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所を記入ください。

	市内	市外
1) 自宅（※ 兄弟姉妹・子ども・親戚等の家含む）	〔 〕 人	〔 〕 人
2) 住宅型有料老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	〔 〕 人	〔 〕 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	〔 〕 人	〔 〕 人
5) グループホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
6) 特定施設	〔 〕 人	〔 〕 人
7) 地域密着型特定施設	〔 〕 人	〔 〕 人
8) 介護老人保健施設	〔 〕 人	〔 〕 人
9) 療養型・介護医療院	〔 〕 人	〔 〕 人
10) 特別養護老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
12) その他	〔 〕 人	〔 〕 人
13) 入居・入所する前の居場所を把握していない	〔 〕 人	
14) 合計	〔 〕 人 ★	

ここからは、**過去2年間の退去者**についてお伺いします。

問6 過去2年間（H29年10月1日～R1年9月30日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

※ 一時的な入院等で貴施設等に戻った人、現在一時的に入院中の（貴施設等との契約が継続している）は含めないでください。

退去者数（合計）（※死亡・搬送先での死亡を含む）

〔 〕 人 ☆

問7 問6で記入いただいた過去2年間の退去者について、**要介護度別の人数**をご記入ください。

※ 死亡（搬送先での死亡を含む）した人については、「死亡」欄にその人数を記入ください。

※ 下記の合計人数（☆欄）と、問6で記入いただいた「退去者数（合計）」（☆欄）が一致することを確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
要介護4	要介護5	新規申請中	死亡	合計	
〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人 ☆	

問8 問6で記入いただいた過去2年間の退去者について、**退去先別の人数**をご記入ください。

※ 下記「16）合計」（☆欄）と問6で記入いただいた「退去者数（合計）」（☆欄）が一致することを確認ください。

※ 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

	市内	市外
1) 自宅（※ 兄弟姉妹・子ども・親戚等の家含む）	〔 〕 人	〔 〕 人
2) 住宅型有料老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	〔 〕 人	〔 〕 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	〔 〕 人	〔 〕 人
5) グループホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
6) 特定施設	〔 〕 人	〔 〕 人
7) 地域密着型特定施設	〔 〕 人	〔 〕 人
8) 介護老人保健施設	〔 〕 人	〔 〕 人
9) 療養型・介護医療院	〔 〕 人	〔 〕 人
10) 「9」を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）	〔 〕 人	〔 〕 人
11) 特別養護老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
12) 地域密着型特別養護老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
13) その他	〔 〕 人	〔 〕 人
14) 行先を把握していない	〔 〕 人	
15) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）	〔 〕 人	
16) 合計	〔 〕 人 ☆	

問9 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する□に✓を付けてください。

	退去理由「上位3つ」に✓		
	第1位	第2位	第3位
1) <u>必要な生活支援</u> が発生・増大したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2) <u>必要な身体介護</u> が発生・増大したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3) <u>認知症の症状</u> が悪化したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4) <u>医療的ケア・医療処置の必要性</u> が高まったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6) 入所・入居者の <u>状態等</u> が改善したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7) 入所・入居者が、 <u>必要な居宅サービスの利用を望まなかった</u> から	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8) <u>費用負担</u> が重くなったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9) その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査

武蔵野市介護施設等における入退所調査

(武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画、
武蔵野市障害者計画・第6期障害福祉計画策定に係る調査)

報告書

発行年月：令和2年3月

発行・編集

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課

〒180-8777

武蔵野市 緑町 2-2-28

Tel 0422-60-1925 (直通)